

ニットクニュース

NITTOKU NEWS

No.83

2024新春号

【特集】

絵本のぬくもりを求めて。



1 ご挨拶 代表取締役社長 遠田比呂志

2~21 **【特集】** 絵本のぬくもりを求めて。

INTERVIEW

4 絵本の世界に魅せられて。

●タレント 渡辺満里奈

7 本の街の絵本の店
ブックハウスカフェ

11 原画に会いに絵本美術館へ

世界最大規模のコレクション

安曇野ちひろ美術館

高原の小さな絵本美術館

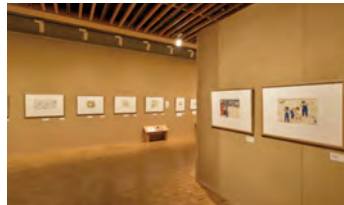
えほんミュージアム清里

絵本の生まれる場所へ

16 好きなものに囲まれて

どいかやさんのアトリエ

19 2人でつくる、みんなをつなぐ
accototo ふくだとしおさん+あきこさんのアトリエ



▲安曇野ちひろ美術館



▲ブックハウスカフェ

▲えほんミュージアム清里



▲accototo ふくだとしおさん+あきこさんのアトリエ



▲どいかやさんのアトリエ

22~25 ●得意先を訪ねて

22 **【盛岡市】株式会社石田商会**

24 **【静岡・浜松市】株式会社アヅマ**

26~27 ●INFORMATION

26 ■塗料事業本部

●ニットク・アメニティシステム連合会総会――

「令和5年総会を宮城・ホテルメトロポリタン仙台で開催」

28~35 ●TOPICS

■お知らせ

28 カーボンニュートラルの取り組み「太陽光発電設備を導入」

■塗料事業本部

30 「ユータック コンプリート 難黄変BIO」のご紹介

■塗料事業本部

30 「パラサーモ」シリーズ リニューアル

■自動車製品事業本部

32 ANG「操業20周年記念式典」を開催

■業務本部

32 投資家向けのオンライン決算説明会開催について

■お知らせ

33 『CSRレポート2023』発行のお知らせ

■お知らせ

34 静岡工場「役員による、清掃および交流イベント」の開催について

34~41 街を彩るニットクの製品

●発行日 2024 (令和6) 年1月
●企画・発行／編集 日本特殊塗料株式会社・広報委員会／坂口繁伸
●表紙イラスト 駒田寿郎
●制作協力 有限会社 齋藤デザイン事務所

『ニットクニュース』定期購読者を募集！

『ニットクニュース』の定期購読者を募集しています。
『ニットクニュース』は当社が企画、制作し、年に2回(新春号1月、夏季号8月)発行している広報誌(フリーペーパー)です。ご希望がございましたら、ホームページのお問合せフォームからお申し込みください。ご希望の宛先に直送いたします。

ご挨拶



●代表取締役社長
遠田比呂志

2024年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

平素から、弊社の事業活動に対し格別のご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。本年も倍旧のご厚情を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行し、我々の生活も徐々に元の姿を取り戻してきたことは喜ばしいことです。人と直接お会いして、会話や食事を共にし、考え方や気持ちなどを伝え合うことは、お互いの異なりを踏まえた上で、相互理解をより深めていくという働きがあり、私たちの生活に欠かすことはできないものと実感しています。

一方、地政学的リスクは高まり、社会情勢は不安定で厳しい状況にあります。これらの影響は、我々の身近に存在する「少子高齢化」「人材不足」「脱炭素社会への転換」といった課題をより複雑化していると感じます。

弊社は原材料価格の高騰や調達不安に対処し、一部製品の販売価格見直しにご理解をいただきながら、工場の再配置を含む生産集約や新工法／生産工程合理化等の根本的な対策にも着手し、徹底した原価低減・経費低減策を実施しています。

塗料関連事業においては、国内市場は趨勢的に縮小傾向にあるものの販売が堅調に推移していること、自動車製品関連事業においては、国内を中心に自動車の生産台数が回復したことで生産・販売が安定したことなどを踏まえ収益力の回復に努めています。

そのうえで、塗料関連事業における環境配慮型製品の一例として、主力市場である塗り床材では、11月に新製品「ユータック コンプリート 難黄変BIO」を発売しました。本製品は水性硬質ウレタン系塗り床材で、紫外線による変色が発生しづらい設計となっているだけではなく、石油資源の節約とCO₂排出量削減に取り組むべく、バイオマス原料由来の樹脂

を採用しています。今回の新製品発売を機に、今まで以上に地球環境に配慮した製品の開発を推進し、各市場へ新製品を展開したいと考えています。また、自動車製品関連事業においては、電動車 (BEV) 特有のニーズに合わせた製品開発を進めています。

―昨年設定した「サステナビリティ基本方針」「マテリアリティ」への本格的な取り組みに関しては、「人材不足」「働きがい」といった点について、検討段階ではありますが外部コンサルタントを交えて人事制度の刷新案に着手し、その先には、人事制度と補完関係となる教育研修制度の整備にも取り掛かりたいと思っています。すでに導入済みのeラーニングはその取り組みの一つです。今年度は、人事制度の刷新と職場環境の整備を重点的に進め、「働きがい」のある活力に満ちた職場づくりを推進したいと考えています。

また、「脱炭素社会への転換」に関しては、愛知工場や海外子会社において太陽光発電を導入いたしました。この先、海岸に近い等の地理的要因や建物の耐久性等の問題から、太陽光発電の設置が難しいケースもあるため、CO₂フリー電力の購入等もあわせて、早期に検討を進めていく予定です。そして、以前から取り組むサーキュラーエコノミーに関しても業種を超えた廃棄資源の地産地消プロジェクトを推進しています。

お取引先やステークホルダーの皆様のご期待に応えるためにも、さまざまな経営課題に積極果敢に取り組み、企業価値向上に邁進していきますので、皆様の変わらぬご支援、ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

社会情勢の安定化を祈念いたしますとともに、皆様のますますのご健勝と、ご繁栄をお祈り申し上げます。

特集

絵本のぬくもりを求めて。

電子書籍やネットショッピングが主流となっている昨今、

実際に手に取って購入したい書物がある。

絵本がそれだ。

絵や物語はもちろん、紙の手触りやめくるときの心地よさが、その魅力のひとつだからだ。

絵本は子どもだけではなく、大人にも影響を与えるメディアだ。

絵本の専門店では大人一人で訪れる客も目立つ。

図書館の絵本コーナーでは自分のために絵本を選んでいる年配者も多い。

赤ちゃんから大人まで一緒に楽しめるジャンル、絵本。

幅広い年齢層から愛される絵本のぬくもりを求めて街に出た。

絵本のすばらしさを再認識

思い起こせば、絵本との出会いは幼稚園の頃。『ぐりとぐら』シリーズや『いやいやえん』、『だるまちゃん』シリーズ、『しろくまちゃんのほっとけーき』などを見て育ちました。「このホットケーキ、おいしそう！」なんて思いながら、絵本の世界に夢中になって……。絵本に出てくる食べ物は本当に魅力的。「どんな味なんだろう？」って憧れましたね(笑)。

小学生になると、物語にも親しむようになり、近所の図書館によく行きました。父が『アンデルセン童話』や『グリム童話』など子ども向けの童話集を買ってくれたことをよく覚えています。私が本好きになったのは、絵本がきっかけといえますね。

大人になるにつれ、絵本の世界から遠ざかっていましたが、妊娠・出産を機に変わりました。いろいろな絵本を子どもに読んであげたい。ワクワクする世界に触れさせたいと、再び絵本を手取るように。あらためて『ぐりとぐら』シリーズを読んでもみると、幼い頃を追体験するようで、絵本のすばらしさを再認識。世代を超えて長く愛されているのもよくわかりました。

初めて読み聞かせしたのは、『いやいやだ』。同じシリーズの『もじゃもじゃ』や『にんじん』も簡単な言葉のお話なので、よく読みました。これら3冊は温かみのある貼り絵もさることながら、絵本自体が17cm四方の小さな正方形で、子どもにもページがめくりやすいのが魅力。さらに、本のカバーがないのもポイントが高い(笑)。何度も繰

り返し読み聞かせをしていると、どうしてもカバーが破けてしまいます。本の保存には必要なものですが、カバーのかかっていない絵本が個人的にはお気に入りです。

絵本づくりに込めた思い

長男が生まれる少し前、「絵本をつくってみませんか？」というお話をいただきました。初めての妊娠から出産までの日々をつづったエッセイ本、『これが私の十月十日 妊婦道』と『はじめてのこそだて 育自道』を担当してくれた編集者の方からのうれしいお声かけでした。今から16年前のことです。

どんなお話にしようかとあれこれ思案する中でたどり着いたのが、子どもに最初に覚えてもらいたい言葉をテーマにしたストーリー。その言葉とは「ありがとう」です。感謝の気持ちを伝



初めてつくった絵本『ありがとう ターブゥ』を持つ渡辺満里奈さん。この後、『おかえり ターブゥ』『ごめんね ターブゥ』(いずれも絵:おおつかけいり/ソニー・マガジズ)を出版した。

える「ありがとう」を、素直に言える人になってほしい。否定的な言葉よりも肯定的な言葉を最初に覚えてもらいたい。そんな思いを込めてつくり上げたのが、初めての絵本『ありがとう ターブゥ』です。主人公はちょっぴり忘れん坊のブタ、「ターブゥ」。お母さんから

頼まれた大切な言葉を忘れてしまい、仲間と一緒に考えながら歩いていく中でいろんな言葉を覚えていくのです。「ターブゥ」をはじめ、イヌの「ヌーイ」、ロバの「バーロ」など名前を逆さ言葉にしているのは、ちょっとした遊び心。「あれ？」と気づいてもらい、分かった時に「あ！」と面白がってもらえたらいいなって(笑)。

そんな「ターブゥ」のお話は三部作になっています。2冊目は「ごめんね」と素直に謝ることのできる人になってほしいとの思いから、『ごめんね ターブゥ』。3冊目は帰る場所のある安心感を伝えたいと思い、「おかえり」という言葉を取り上げて、『おかえり ターブゥ』としました。

出版後、読み聞かせイベントを何度か開催しましたが、「こんな時、なんて言うんだっけ？」と会場の子もたちに聞かけると、大きな声で「ありが



満里奈さんお気に入りの絵本たち。

とう！」って答えてくれた時には大感激。今でも忘れられません。

親子をつなぐ読み聞かせ

わが子に読み聞かせをしてみようと思ったのは、子どもと大人では絵

本に対する感性が違うということ。母親の私が「これはいい！」と思って読んでも、子どもからはさほど反応がなかったり、逆に私がピンと来ないものに、ものすごく反応したり。たとえば、『かいじゅうたちのいるところ』を読み聞かせした時のこと。私の大好きな絵本の一つだったのですが、2人の子もたちは「絵が怖い。怖くてイヤだ」と。リアルな絵柄に抵抗があったようです。親子でも感性は全然違うのだと気づいてからは、絵本を読むのがより楽しいものになりました。

子どもたちのお気に入りには『からすのパンやさん』。84種類のパンが出てくるのを、一つひとつ、声色を変えて読んでいたら、それが面白かったようで、普通に読むとダメ出しされるように。つい面倒になって飛ばして読んだりするとバレちゃう(笑)。大変でしたが、今では良い思い出ですね。

思い出といえば、毎年8月になると読み聞かせをしていた絵本がありました。太平洋戦争中の実話を元にした『かわ

絵本の世界に魅せられて。

●タレント

渡辺満里奈

わたなべ・まりな ●1970(昭和45)年東京都生まれ。1986年、『夕やけニャンニャン(おニャン子クラブ会員番号36番)』(フジテレビ系)で芸能活動開始。同年10月8日、『深呼吸して』(EPIC・ソニー)でソロデビュー。おニャン子クラブ解散後は清潔感あふれる明るいキャラクターを生かしてテレビ・CM・雑誌などで活躍。台湾やピラティスをいち早く紹介するなど女性からも注目される。食や手芸を題材にしたナチュラルなライフスタイルをつづる書籍の評価も高い。2005(平成17)年、お笑いトリオ「ネプチューン」の名倉潤氏と結婚。2007年に長男出産、2010年に長女を出産し、現在2児の母。デビュー30周年の記念企画盤として自身がセレクトした30曲を集めたCD『MY FAVOURITE POP』(ソニー・ミュージックダイレクト)を2017年9月20日に発売した。現在、テレビ「ひるおび!」(TBS系・隔週月曜)や、ラジオ「オールナイトニッポン MUSIC10」(ニッポン放送・毎週木曜)などにレギュラー出演。

■公式サイト <https://www.marina-watanabe.com>

いそうなぞう』です。「戦争は絶対いけない」と伝えたいために、小学校中学年ぐらいまで夏の恒例行事として続けていたのですが、私がいつも同じところで泣くので、お話よりもそれが気になるらしく、チラッチラッと様子をうかがうんです。「あ、また泣いてる……」って(笑)。

涙なくしては読めない絵本は、『ジオジオのかんむり』も然り。年老いたライオンと小鳥の交流を描いたものですが、切なくて心温まるエンディングに、私は決まって言葉を詰まらせてしまう。どうして私が泣くのか、今はまだ子どもたちにはわからないと思いますが、いつか大人になった時に理解してくれたいですね。

絵本はかけがえのない宝物

どんな絵本を選んだらいいのか。読み聞かせ用の絵本選びに悩んでしまう人は少なくないでしょう。私もその一人で、「おすすめの絵本50冊」といった情報を参考にしたり、絵本の定期購読サービスを利用したりしました。時には書店をめぐって、気になったものを



手に取ってみたりしたことも。ロングセラーだけでなく、新しい作家さんの絵本にも出会えて世界が広がりましたね。

絵本の魅力はいろいろありますが、四季折々の自然や食べ物を知ることができるのも素敵なお店。桜の季節だったら、桜をモチーフにした絵本を読んで、実際に桜を見に行ったりしました。夏は海、秋は紅葉、冬は雪といった具合に。『14ひきのシリーズ』を揃えたら、春夏秋冬が伝えられますね。

絵本を通じて学ぶことはたくさんあります。書店でたまたま見つけた『びっくり まつぼっくり』という絵本には、雨の日と晴れの日ではまつぼっくりの形が違うことが書いてあって驚きました。その仕組みを利用して、大きなまつぼっくりを小さなガラスびんに入れ

るという手品も書かれていたので、子どもたちとチャレンジ。理科の実験みたいで、私までドキドキ(笑)。初めて知るまつぼっくりのヒミツに胸が高鳴りました。

今は2人の子どもたちもすっかり大きくなって、読み聞かせすることはなくなりましたが、「これ読んで」とせがまれて、絵本のページをめくっていた時間は貴重なものだったと実感しています。絵本をきっかけに本が好きになり、自ら絵本をつくる機会にも恵まれました。そして、子どもとふれ合う、あたたかい時間をたっぷり持てたのも絵本のおかげ。私にとって絵本はかけがえのないものであり、これからも心を豊かにしてくれるものとして、ずっとそばに置いておきたい宝物です。

渡 辺 満 里 奈 さ ん T O P I C



5歳違いの3人で『大人の女社会』結成！
更年期も閉経も明るく真面目にオープンに

「50歳からの人生を楽しもう!」をテーマに結成されたプロジェクト『大人の女社会』。渡辺満里奈さんが、10歳年上の野宮真貴さん(写真左)と5歳年上の松本孝美さん(写真中央)と一緒に更年期を前向きにとらえるための情報を発信しています。



渡辺満里奈
オフィシャルHP

大人の女性が素敵に見えるアパレルも開発

冷え症に悩んだり、体型が気になったりする更年期世代。スウェットだけどカジュアル過ぎず、後姿がスッキリ見えるロング丈のパーカーは2024年1月発売予定。詳しくは渡辺満里奈オフィシャルHPをチェック。



本の街の 絵本の店

ブックハウスカフェ

“本の街”として知られる東京・神田神保町に
楽しく元気な絵本専門店がある。

開店6年目を迎える絵本専門店&カフェ「ブックハウスカフェ」だ。

広い店内は老若男女でにぎわい、日々のイベントも盛況。

出版不況や書店の経営難が叫ばれるなか、

斬新なアイデアで挑み続ける代表取締役の今本義子さんに

絵本と人をつなぐ店づくりの工夫や、

絵本の魅力について伺った。

店の中央にある約30席のカフェコーナー。本棚に囲まれていてリラックスでき、テーブル席でサンプルの絵本を読むこともできる。昼はカフェ、夜はバーになる。天井には可愛らしい太陽と月のイラストも。



1万冊を超える絵本が対象年齢別、作家名別などに分かれて並んでいる。マスコットなど関連グッズも販売されていてにぎやか。



作者のサイン本や入手が難しい絵本も販売。直筆のサインとともに描かれたイラストを眺めているだけでも楽しい。



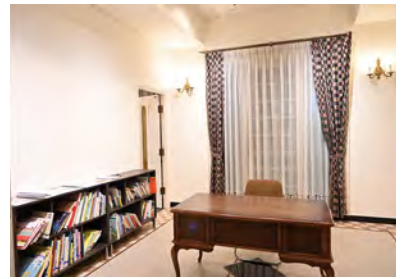
英訳された日本の名作や海外の絵本。外国人のお客はもちろん、外国語が苦手な人も絵本なら読みやすい。



休日は親子連れでにぎわう店内。壁面以外の本棚が低いのは、子どもたちが店内にいるお母さんやお父さんを見つけやすくするため。平積みスペースが広く、子どもも気になったものを手に取りやすい。



平日の夜8時からバーがオープン。絵本とバーというミスマッチ感が人気を呼び、今では店の大事な収入源。今本さんも接客する。



読み聞かせや読書会などさまざまな用途で利用できる2階の「ひふみB」。グランドピアノがある「ひふみA」では演奏会なども。

足を運びたくなるあたたかい店

“本の街”として知られる東京・神田神保町。出版社や大学、老舗飲食店も多く建ち並ぶ。街に明かりがとまり始めた平日の夕暮れ時、絵本専門店「ブックハウスカフェ」に老若男女が吸い込まれるように入っていく。出てくるのは楽しそうに会話する何組かの親子連れ。やわらかな照明の瀟洒な外観は、“街の本屋さん”というよりもパリの街角にあるセレクトショップのようだ。

「休日は親子連れで店内がいっぱいになりますよ」と話すのは代表取締役の今本義子さん。オープンは2017年。ネットで本を注文すれば翌日に手元に届く便利な時代に、書店を開く意味を考え続けた今本さんが出した答えが、



靖国通りに面して建つ「ブックハウスカフェ」入口。お洒落な外観に足を止める人も多い。



訪れた人が「また来たい」と思う店づくりだった。好立地とあたたかい接客を大切に、書籍販売、飲食、イベント、スペース貸しの4本柱で運営している。「絵本は子どもが五感を使って楽しむものであり、初めて出会う美術品。自由に手に取って選べる専門店が街には必要」との強い思いが根底にある。

取り扱っている絵本は1万冊以上。50年以上のロングセラーが根強い人気があるのが絵本の特徴だが、同店は新刊にも力を入れる。「新しい本を1冊でも多く並べて紹介するのが専門店の役割」との考えからだ。店に入っただけで目を引くのが「ブックハウスカフェ大賞」コーナー。過去1年間の新刊の中からスタッフが選んだ20作品が並べら

左／過去1年間の新刊の中からスタッフが投票で選ぶ「ブックハウスカフェ大賞」コーナー。2022年10月から2023年9月出版の20作品を紹介していた。右／「新しい本を1冊でも多く紹介したい」との思いから、新刊紹介コーナーが充実。

れ、思わず手に取りたくなる。

「手に取って選べる楽しさと、気に入ったものを買って帰れる喜びは、書店でなくては味わえません。『これはあの時に買った本』『お母さんと一緒に選んだ本』といった思い出も加わると素敵だなと思います」。

中央には書店経営を支える柱として同時に始めたカフェがあり、一息入れたり、待ち合わせで利用したりするビジネスマンも多い。1万冊の絵本に囲まれたなんとも心落ち着く空間だ。

学びと喜びの空間

「ブックハウスカフェ」にある3つのギャラリーではさまざまな展示が行わ

れていて、さながら“赤ちゃんから大人まで楽しめる美術館”。原画展の会期中に作家さんのトークイベントを企画したりして、店舗ならではの心に残る販売を心がけている。

最近では、大人が絵本を読んで感想を語り合う読書会での利用も多いそう。「絵本は5分程度で読めて同じ世界が共有できるので、すぐに会話が始まります。自己肯定感や多様性などテーマのある絵本が大人には好まれますね」。

さらに、障害者福祉センターとのコラボレーションで“ココロノホンダナ”の活動にも力を注ぐ。障害がある人もない人も一緒に楽しむ陶芸教室などだ。「なかには初めて本屋さんに入ったと喜んでくれるお子様もいるんですよ」とバリアフリーな社会参加を支援。「私



たちは街の本屋さん。街の一つのコミュニティ的存在になれたら」と語る。

絵本と人、人と人をつなぐ

今本さんの印象に残っているのが、オープン間もない頃に赤ちゃんとお母さん、祖父の3世代で来店したお客だ。

「おじいちゃまはお孫さんが生まれたことがうれしくてたまらないようで、幼児向けから小学校に上がるくらいまでの絵本を段ボール3箱分も購入してくださいました。何年後にお母さんがいらして『一緒に選んできたあの本がとても良くて……』と私にいろいろ話してくださって。うれしかったですね。おじいちゃまは絵本だけでなく、親子の幸せな時間もプレゼントし

たのだと思います」と目を細める。

ネット販売にはない書店の良さを生かしてパワフルに挑み続ける今本さんだが、さすがにコロナ禍のときは気持ちが落ち込んだ。「私たちは人と人を近づける活動ばかりしてきたので、もう八方ふさがりの状態で。でも、多くの方の寄付とあたたかい言葉に本当に支えていただき、諦めないで頑張ろうという気になりました」としみじみ。

さらに「新刊を売れば作家さんや出版社、印刷や製本業者にも還元されます。いい絵本が出たら皆様に紹介するのが私たちの役目。“本の街”は世界的にも珍しいですし、神保町が“本の街”である限り、店を続けていくことが使命だと思っています」と穏やかな笑顔の中にも言葉は力強い。

街の絵本の店として「ブックハウスカフェ」は今日も、絵本と人、人と人をつなぎ、訪れた人を楽しく元気にしてくれる。

●ブックハウスカフェ
東京都千代田区神田神保町2-5北沢ビル／書店
11:00～18:00／カフェ(平日) 11:00～17:30(17:00 L.O) カフェ(土日祝) 11:00～18:00 (17:30 L.O)／
バー(平日のみ) 20:00～23:00／☎03-6261-6177
(書店)・03-6910-0819(カフェ・バー)
<https://bookhousecafe.jp>



1階のギャラリー「ガリバー」と「こまどり」では原画展や各種展示会を開催。「こまどり」は貸しギャラリーとしても大人気。

今、読みたい！ 新しい絵本！

絵本というジャンルは、親から子どもへ、そして孫へと世代を超えて愛されるため、『ぐりとぐら』のようなロングセラーの存在感が圧倒的だ。その一方で、新しい世代の絵本作家たちも魅力的な作品を発表している。近年刊行された作品の中から、ぜひ手に取っていただきたい絵本を、「ブックハウスカフェ」の今本義子さんに選んでいただいた。

せかいいちのいちご

作 林 木林 絵 庄野ナホコ



ある日、シロクマのところにイチゴが1粒届く。次の冬、またイチゴが。今度は2粒。次の冬はもっとたくさん……。イチゴが増えて、減ったものとは？ 子どもにも大人にも届けたい絵本。

1,980円／B5判・32P
発行 小さい書房

ころべばいいのに

作 ヨシタケシンスケ



「きらいな人は、みんな石につまずいて転べばいいのに」と思いながら、復讐法を想像したり、慰め方を考えたり……。大人も子どもも共感できる、ヨシタケ流心の処方箋。

1,540円／257×205mm・32P
発行 ブロンズ新社

夜をあるく

作 マリー・ドルレアン 訳 よしい かずみ



真夜中、母親に起こされた姉弟が家族4人で町に出かけ、やがて山へ。暗闇の中に聞こえる虫の声、木の葉のざわめき、そして満天の星。山を登った先に待っていたのは――。青で描かれた夜景が美しい絵本。

1,760円／280×210mm・32P
発行 BL出版

王さまのお菓子

作 石井睦美 絵 くらしれい



フランスの伝統菓子「王さまのお菓子」の楽しみは、菓子里に隠された“フェヴ”という小さな陶器の人形を引き当て、紙の王冠を被って皆から祝福されること……。幸せなお菓子をめぐる物語。

1,650円／266×207mm・32P
発行 世界文化社

きみのことがだいすき

作・絵 いぬい さえこ



森に暮らす小さな動物たちの会話をのぞいてみたら、やさしい言葉であふれていた。つらいとき、心細いときに寄り添ってくれる、繊細でぬくもりのある絵と言葉が詰まったメッセージ絵本。

1,320円／168×168mm・32P 発行 パイ インターナショナル

ねずみさんのパンツ

作 tupera tupera



帯のパンツをぬがしてから読む絵本。パンツをなくしたねずみさんが、しろくまさんと一緒にパンツを探しに行くことに。いろいろなパンツが登場する、遊び心にあふれた、とても楽しい型抜きしかけ絵本。

1,430円／220×130mm・32P
発行 ブロンズ新社

あふれたまち

作 マリアホ・イルストゥラホ 訳 鈴木沙織



ある朝、町が水びたしに。水はそのうち引いて、元通りになるだろうと、のんびり過ごす動物たちは次第に混乱し始める。大丈夫。皆で協力すればなんとかなる……。かわいらしい絵で描く寓話。

2,420円／302×232mm・32P
発行 化学同人

ひげおじさん

文 高橋潤子 絵 北谷しげひさ



短いひげを伸ばしてリンゴをつかまえたり、長いひげを伸ばしてセーターに変身させたり、小さなひげを回して飛んでいたり……。子どもが喜ぶユーモアあふれるナンセンス絵本。

1,540円／AB判・24P
発行 講談社

ひと粒のチョコレートに

文 佐藤清隆 絵 junaida



“お菓子の王様”チョコレート。そのおいしさの秘密・カカオの不思議な性質や、人間の驚くような技術を、やさしい文章と上品な絵で語る絵本。ブックデザインも楽しい。

2,200円／237×175mm・44P
発行 福音館書店

海のアトリエ

作 堀川理万子



おばあちゃんが話してくれた、学校に行けず引きこもっていた“あたし”が、海辺のアトリエで絵描きさんと過ごした、特別な夏の日の思い出。みずみずしい絵も素敵な1冊。

1,540円／220×280mm・32P 発行 偕成社

あおを はっけんした ちいさな ヤン

みならい えかきの おはなし

作 ジャン・リュック・アングルベール
訳 はしづめ ちよこ



立派な絵描きになるという夢を持ち、有名な画家のアトリエで見習いとして働く少年ヤンが、現在「ブルシャンプル」と呼ばれる青色を発見する話。絵の具開発の試行錯誤や少年の成長など、多くのテーマが織り込まれた絵本。

1,870円／275×213mm・40P
発行 イマジネーション・プラス

ぼく、いいたい ことがあるの

文 ジャン＝フランソワ・セネシャル

絵 岡田千晶 訳 小川仁央



おばあちゃんと2人で行った場所、一緒に作ったものなど思い出しながら、読んでもらうことのない手紙を書くキツネの男の子。もう会えない大切な人と別れる気持ちを、あたたかく包みこむように、愛らしいイラストとともに描く。

1,760円／296×216mm・44P
発行 評論社

※価格はすべて税込です。

原画に会いに 絵本美術館へ



広大な安曇野ちひろ公園（5万3500㎡）の中に建つ「安曇野ちひろ美術館」。公園の草木や北アルプスの山々が四季折々に美しい姿で来訪者を迎えてくれる。

世界最大規模の コレクション ●安曇野ちひろ美術館

日本を代表する絵本画家のいわさきちひろ（1918～1974）。長野県松川村にある「安曇野ちひろ美術館」はちひろをはじめ世界中の絵本画家の作品が展示され、絵本美術館としては世界最大規模のコレクションを誇る。晩秋の安曇野で、絵本の世界に浸った。

国内外の画家の作品を展示

北アルプス連峰の麓に広がる長野県の安曇野。1997（平成9）年開館の「安曇野ちひろ美術館」は、絵本画家・いわさきちひろの作品をはじめ国内外の画家の原画や資料を展示している絵本美術館だ。35の国と地域のアーティスト221人、2万7500点を所蔵し、絵本美術館

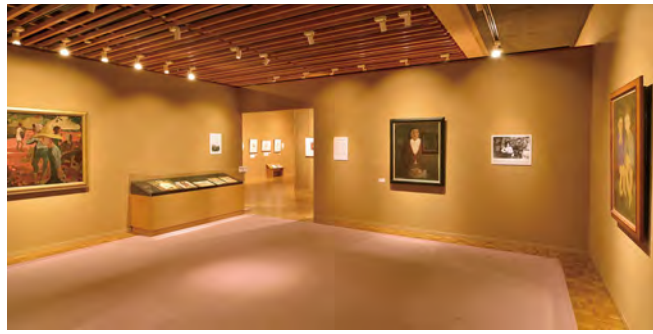
としては世界最大規模を誇る。

多くの原画や資料が同館に集まるのは、それらを大切な文化遺産として早くから収集や展示、保存に努めてきたため。ちひろが亡くなった3年後の1977（昭和52）年に自宅を改修して建てた「いわさきちひろ絵本美術館」（現在の「ちひろ美術館・東京」）は、世界で初めての絵本専門美術館である。絵本の絵が



上：美術館のエントランス。周囲の景観にマッチした建物は内藤廣氏の設計。
下：開放感あふれる展示室1前。床や天井の木と、地元の花崗岩を混ぜたパールオレンジの壁がぬくもりを感じる。

まだ美術作品として認められず、一般の美術館では取り扱わなかった時代に、ファンの声に応える形でつくられた。その開館20年を記念して、長野県の松



ちひろのアトリエと同じ材質の壁や床、カーペットなどを使った展示室1。ちひろは14歳から油絵を習い、徐々に水彩画へ転換した。希少な原画を、ちひろのアトリエと同じ環境で鑑賞できる。



展示室1の絵本の原画コーナー。おなじみの絵も原画で見ると筆づかいがよくわかり、印刷物とは微妙に違う原画ならではの色合いを楽しめる。ちひろの淡い水彩画は印刷技術の発展とともに描ける幅が広がり、仕事も増えていったという。



子ども (1962)



バラの花束を抱える母親『お母さんの話』習作 (1947頃)

初期の頃の作品。左はちひろが描いた最後の油絵「子ども」。上は28歳で描き、文部大臣賞を受賞した紙芝居「お母さんの話」より。当時ちひろは新聞記者でもあったが、この紙芝居の仕事を通じて画家として立つことを決意した。



焰のなかの母と子『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)より (1973)

いずれも絵本の原画で、左は生前最後に完成させた絵本「戦火のなかの子どもたち」から「焰のなかの母と子」。右は絵本「あかちゃんのくるひ」から「あかちゃんのくるひ」。絵を通して子どもの平和としあわせを願い続けた。



あかちゃんのくるひ『あかちゃんのくるひ』(至光社)より (1969)

川村に建設されたのが「安曇野ちひろ美術館」だ。

松川村は信州出身のちひろの両親が戦後に暮らした地で、ちひろもよく訪れ、たくさんのスケッチを残している。設計は建築家の内藤廣氏。三角の屋根や開放的な造りが安曇野の景観にしっかりと馴染んでいる。

訪れるたびに新たな楽しみ

「安曇野ちひろ美術館」では3つの企画展を中心に展覧会を行っている。ちひろの企画展、ちひろ美術館のコレクション展、ちひろ以外の画家の企画展だ。ちひろの企画展は、ちひろのアトリ



左：ちひろが使った画材。ちひろの生涯を解説している展示室2で公開されている。

右：トットちゃんの電車の教室を再現した子どもの展示室。奥には絵本の部屋があり、書棚から自由に絵本を選んで読むことができる。



エと同じ材質の壁や床、カーペットを用いた展示室で絵を鑑賞できる。印刷物などで親しんできた水彩画も、原画に接するとまた違った印象を持つ。筆致からはちひろの感情がより伝わってきて、描かれた人物や風景のぬくもり

まで感じられるよう。目の前の1枚の絵が実体となって迫ってくる感覚があり、強く心を動かされる。原画でなければ味わえない醍醐味だろう。

ちひろは水彩画の世界で活躍する前は油絵を学んでいたそうで、戦火から焼け残った貴重な油絵も展示されていた。

そのほか、館長である黒柳徹子さんの著書『窓ぎわのトットちゃん』からイメージした「子どもの展示室」、絵本の歴史を解説した展示室、ちひろの生涯や遺品などを紹介した展示室などもある。展示は3カ月ほどで入れ替わるため、訪れるたびに違う楽しみや発見が待っている。

広い館内の内装や家具、ミュージア



展示室3では「没後50年 初山滋展 見果てぬ夢」が開催されていた。大正から昭和にかけ活躍した童画家の鮮やかな色彩の夢の世界は、今なお新鮮さを失っていない。



信州で絵本美術館めぐり

信州には数多くの絵本美術館や絵本関連施設がある。岡谷本館とハヶ岳館がある長野県の「小さな絵本美術館」は、絵本作家のさとうわきこさんが創設した絵本美術館。国内外の絵本の原画や絵画、古い絵本などを展示している。「武井武雄の世界 イルフ童画館」は「童画」の世界を確立したとされる武井武雄(1894～1983)の童画や版画を中心に、国内外の作家の

作品を集めた企画展を開催している。山梨県にある「えほん村」は、木の造形作家・松村太三郎さんと絵本作家で画家のまつむらまさこさんが1983年につくった日本最初の絵本専門図書館だ。

冬季休館している施設も多いので、公式サイトなどで開館日時を確認して、絵本美術館めぐりを楽しんではいかがだろう。



1990年11月、諏訪湖近くのリンゴ園の中に建てられた美術館。絵本原画展のほか、りんごまつりやクリスマス会など、季節ごとのイベントも人気。

● **小さな絵本美術館～岡谷本館～**
長野県岡谷市長地権現4-6-13
☎0266-28-9877 <https://www.ba-ba.net/>



「イルフ」は古い(フルイ)の逆さ言葉で新しいという意味。大正から昭和にかけてのレトロで心に染みる武井の世界を堪能できる。

● **武井武雄の世界 イルフ童画館**
長野県岡谷市中央町2-2-1
☎0266-24-3319 <https://www.ilf.jp/>



木のぬくもりと絵本の心を伝えたいという願いから、「0～100才のこどものこころへ」をテーマに40年間親しまれている図書館。絵本読み聞かせなども開催。

● **えほん村**
山梨県北杜市小淵沢町上笹尾3332-426
☎0551-36-3139 <https://ehonmura.jp/>

ムショップのグッズ、植栽など、どれをとっても調和がとれていて美しい。絵本カフェの椅子はちひろの絵本に描かれている椅子をモチーフに作ったもので、座面裏には「ちひろ」のサインも。「当館のコンセプトは“絵を見なくても楽しめる美術館”です。さまざまな美を集めた場所が美術館であるという考えで、美術館自体を楽しんでいただくことが美術鑑賞につながっていくと考えています。この空間を気持ちいいなと思っていただけたら、とてもうれしく思います」とスタッフの松本麻野さんは話す。

＊ ＊
美術館の周りには自然の景観を生か



左：広々とした安曇野ちひろ公園。春は桜や大花壇の花々が見事に咲き誇る。三角屋根の建物は復元したちひろのアトリエ・黒姫山荘。右上：公園の一角のトットちゃん広場にはトモエ学園の電車の教室が再現され、物語の世界を楽しむことができる。右下：ちひろ館と世界の絵本館をつなぐ渡り廊下にはテラスもある。

した村営公園が広がり、散歩やスケッチなどして自由に過ごすことができる。公園の一角にはちひろのアトリエを復

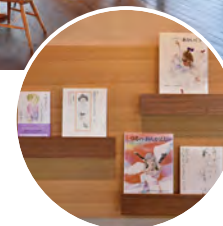
元した三角屋根の黒姫山荘や、電車が置かれたトットちゃん広場もある。

安曇野の大自然の中で世界中の絵本の貴重な原画に出会える「安曇野ちひろ美術館」は、大人も子どもも一日楽しめる絵本美術館。ちひろの没後50年にあたる2024年、この機会に一度訪ねてみてはいかがだろう。

● **安曇野ちひろ美術館**
開館は3～11月
長野県北安曇郡松川村西原3358-24
☎0261-62-0772
<https://chihiro.jp/azumino/>



洗練されたグッズが並ぶ「ミュージアムショップ」と、明るく開放的な空間で絵本が読める「絵本カフェ」。カフェの椅子はちひろの絵本の絵をモチーフに特別に製作したもの。



高原の小さな絵本美術館

●えほんミュージアム清里

八ヶ岳連峰の南麓に広がる山梨県の清里高原。標高1200mに位置し、牧場や観光施設などが点在するこのエリアに物語から抜け出してきたような絵本美術館がある。

1997年開館の「えほんミュージアム清里」。

高原の澄んだ空気の中、ゆったりと絵を鑑賞することができる。



静かな高原にぽつんと建つ「えほんミュージアム清里」。テラスのオープンカフェで広い空と緑を眺めながらお茶を飲んだり、絵本を読んだりできる。

澄んだ空気と広い空と緑

草原の中にぽつんと建つかわいい絵本美術館。山梨県の「えほんミュージアム清里」は、まさにここから物語が始まりそうなたたずまい。もともと牛を放牧していた土地に、1997年にオープンした。建物前に広がる牧草地にはほどよく木陰があり、駐車場近くの牛舎が酪農の面影を残している。

「緑に囲まれた環境や木造の建物はお客様からも好評です。カフェでお茶を飲みながら、絵本を読んでくつろぐ方もいらっしゃいます」とスタッフの小山和也さん。テラス席もあり、広い空と緑、澄んだ空気が心地いい。

同館の展示室は大小6つ。企画展と常設展があり、年3〜4回、展示の入れ替えが行われる。訪ねた時は「くろくまくん」シリーズや「ようかいむら」シリーズなどで知られるたかいよしかずさんの企画展が行われていた。

たかいさんの絵本は、マジックで描いた下絵をパソコンに取り込み着色していく。ページ構成のラフデザインや

スケッチも展示され、制作工程がよくわかる。くろくまくんの絵は二科展などにも出展していて、手描きの貴重な原画を見ることもできた。作家本人が作った立体作品などもあり、絵本でおなじみの絵がさまざまな形で楽しめ、たかいよしかずワールドにたっぷり浸ることができた。

これまでに、どいかやさんや村上康

成さん、コンドウアキさんら絵本作家の原画や、「ノンタン」「ペネロペ」「リサとガスパール」といった人気絵本の原画など、赤ちゃんから大人まで楽しめる企画展が開催されている。

常設展はイギリスの人気作家

2階の特別展示室では、イギリスの絵



上左: たかいさんのボローニャ国際絵本原画展入選作品。絵の具の上からニスを塗って立体感を出している。作品の肌合いを堪能できるのも原画の魅力。
© YOSHIKAZU-TAKAI / KYODA CREATION
上右: ラフスケッチや絵本のページ展開を考える絵コンテも、そのままアートのような。なかなか見る機会のない、これら手書きの資料を隅々まで読むファンも多い。
下: 企画展は2階の展示室も使用。1階と合わせると面積はかなり広い。



『キャベツ姫』（1969）の原画。王様から「ブタ」呼ばわりされた家来たちが、その通りの姿になってしまふ場面を繊細なタッチで描いている。



『シンデレラ』（1972）の原画。シンデレラが舞踏会で王子からもらった果物をお姉さんたちに分ける場面。切り貼りや白い絵の具の跡など、多彩な技術を目の当たりにできる。



左: イギリスで活躍し、日本でもファンの多いル・カインの特別展示室。常設展だが展示は年3回ほど入れ替わる。上: 上の絵は15歳で描いたオリジナルの手書き原稿で、下は初期の頃のフレームデザインとイラスト。

© Errol Le Cain



ル・カインがイラストレーションを担当し、1976年に放映された『雪の女王』のアニメーションの原画。緻密な絵本のタッチとはまた違う作風が楽しめる。

本作家エロール・ル・カインの原画を常設展示している。ル・カインは1989年に47歳で亡くなり、懇意にしていた美術館関係者が原画の散逸を防ぐ目的も兼ねて収集、保管、展示を行ってきたという。展示室の入り口に置かれているのは、さくらもこさんのエッセイ『憧れのまほうつかい』の刊行告知ポスター。ル・カインはさくらさん憧れの人物で、ル・カインが描いたフレーム画がエッセイの表紙を飾っている。

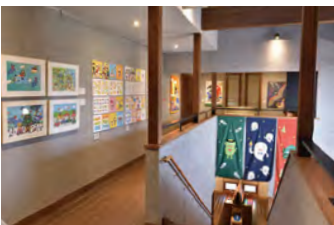
室内には原画約20点と資料が展示され、『シンデレラ』や『雪の女王』『美女と野獣』などもある。もともと緻密なタッチで知られるル・カインだが、原画

で見る細かい線や濃淡のグラデーションはため息もの。絵本作家になる前から、生涯アニメスタジオのアニメーターでもあったためアニメーション用の原画も多く、その鮮やかな色彩にも目を奪われる。絵本とあわせ、原画をじっくり楽しみたい絵本作家のひとりだ。同館では原画や資料、初版本など約200点を所蔵し、原画は定期的に入れ替えて公開している。

*

*

戸建て住宅のようなコンパクトな造りの階段や廊下が6つの魅力的な展示室をつなぎ、中央は開放的な吹き抜け。1階の「えほんカフェ」には大きな暖炉が



エントランスを入るとすぐにあるミュージアムショップ(左)。洋書を含め多くの絵本を販売。ル・カインの原書は絶版で日本語版も重版未定のものも。2階に行く階段脇や廊下の壁にも絵を展示(上)。



リラックスして絵本が読める「えほんカフェ」。「珈琲焙煎工房 豆玄」監修のコーヒー「えほんミュージアム清里オリジナルブレンド」がおいしい。リンゴジュースやハーブティーなどもある。

あり、陽光もよく入る。テラス席に加え、春から秋にかけては広々とした牧草地にあるウッドデッキで風を感じながら絵本を読むこともできる。緑に囲まれたあたたかい環境に心癒やされることだろう。

まるで友人宅に遊びに来たような親しみやぬくもりを感じながら、絵本の世界にゆったりと浸ることができる美術館である。

●えほんミュージアム清里

12月下旬〜3月下旬は冬期休館

山梨県北杜市高根町清里3545-6079

☎0551-48-2220

<https://www.ehonmuseum.com/>

絵本の生まれる場所へ

好きなものに囲まれて

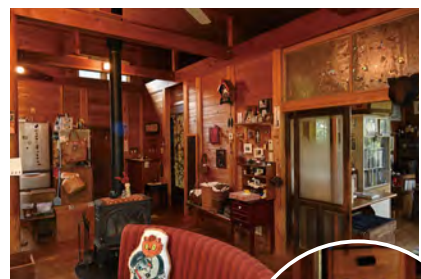
どいかやさんのアトリエ

1996年に『チップとチョコのおでかけ』で絵本作家デビューし、数多くの作品を手掛けてきたどいかやさん。千葉県森に自宅兼アトリエがあり豊かな自然と大好きな猫たちに囲まれた暮らしは『チリとチリリ』シリーズや『ハーニャの庭で』の世界そのもの。ここからどんなふうに物語が生み出されるのか、どいさんが絵本作りに込める思いとは――。

森の中にあるアトリエの庭にはさまざまな植物が茂り四季折々に表情を変える。周辺には小動物や鳥も多く生息し自然豊か。

祖母の膝のぬくもりが原点

樹木が生い茂る里山の細い道を行くと、見えてきたのはテラスがある一軒家。森に溶け込んだこの木の家が、絵本作家・どいかやさんの自宅兼アトリエだ。22年前にご主人と設計した。中に入るとぬくもりを感じて安心感を覚えるのは、壁も床も高い天井もすべて木で、大きな薪ストーブがあるからか。窓の向こうに緑が広がり、どこからか



周辺の環境によくなじんだぬくもりある木の家。リビングには大きな薪ストーブもある。老猫がリビングとテラスを自由に行き来していた。



猫もやって来た。まさに絵本の世界！「友達からもよく絵本作家っぽい家だねって(笑)。こういう暮らしの中で感じたこと、考えたことを自由に描かせてもらっています」とどいさん。『チリとチリリ』シリーズは愛されて20周年で、第8弾まで出版されている。数多くの絵本で私たちを楽しませてくれているが、やはり子どもの頃から絵本に親しんでいたのだろうか。「私は絵本よりも、おばあちゃんの膝枕でお話を聞くのを楽しみに育ちました。いろいろな体験を繰り返し面白おかしく話してくれたので。だから今、絵本もおばあちゃんの膝枕のように、子どもたちの安心につながったり、大人と子どもがふれ合ったりする場になるといいなと思っています」。絵を描くのは子どもの頃から好きだったそうで、美大時代に所属した絵本クラブで絵本作りに目覚めた。「絵本は決まりごとがなく、作り方

は自由。失敗しても面白いものができなくても、自分が作りたいものをひたすら作って学生ホールで発表していました。試行錯誤しながら、言いたいことを表現していく良い経験になりました」と振り返る。絵本作家を目指すようになったのは大学卒業後。訪れた絵本の原画展でプロの仕事に刺激を受け、画材をそれまでの絵の具から色鉛筆に替えてみたところ「私はこういうものを描きたかつ



穏やかで気さくなどいかやさん。質問にも一つひとつ丁寧に笑顔で答えてくれた。



おかっぱあたまの二人組・チリとチリリが森の中を自転車で走る『チリとチリリ』シリーズ(アリス館)は2003年に発売。現在第8弾まで出版されている人気シリーズで、昨年20周年を迎えた。親子で愛読するファンも多い。上が第1作の『チリとチリリ』、下が第8作の『チリとチリリ よるのおはなし』。チリとチリリが出会う動物も楽しい。



どいさんの絵本は、自然を舞台にした作品が多い。そしてそのほとんどが動物を主人公にしたもの。左から、『チップとチョコのおでかけ』(文溪堂)、『ハーニャの庭で』(偕成社)、『うさぎのルーベースー』(新装版) (ほるぷ出版)、『パンちゃんのおさんぽ』(BL出版)。

た」としっくりきたそう。同じ頃、絵本の編集者が始めたワークショップにも参加。「本当に描きたいものが描けている」とこれまでになかった感覚を味わい、描きたいことがどんどん湧いてきたと言う。編集者がそんなどいさんの作品を評価して出版社に持ち込み、2匹の犬の物語『チップとチョコのおでかけ』でデビューとなった。

物語の世界を楽しんでほしい

作品は自然を舞台にしたものが多く、



学生時代は主に水彩絵の具で描いていたが、色鉛筆に替えて絵本作家デビュー。机の上には大小さまざまな色鉛筆や筆記具が並ぶ。原画は水彩紙に描く。

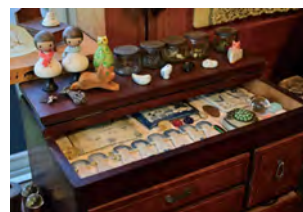


『パンちゃんのおさんぽ』や『ハーニャの庭で』『やまねのネンネ』『ねこのニャンルー』など、どれも命あるものへのまなざしが優しい。「動物は子どもの頃から好きです。物語は暮らしの中から生まれるので、住んでいる環境の影響は大きいですね。それから、私は貴重な紙を使って作る絵本は贅沢品だと思っています。だから本当に書きたいこと、大事なことを伝えるために作ろうとは思っています」。創作活動のベースにある自然との共存意識。同じ生き物に対する目線が

フラットで優しいのはそのためだろう。一方で「最近、物語を楽しむということが減ってきていませんか。ゲームやSNSのように、より瞬間的で刺激あるものに惹かれるみたいで、物語一つひとつを“感じる”ことをあまりしなくなっているように思います」とも。情報もメディアも増え続ける現代、少しでも多くの最新情報や刺激を求めたくなるのは自然な流れかもしれないが、だからこそ絵本を読む子どもたちに気づかされることがあると言う。「幼い子どもにはまだそういう意識がないから、面白いものは純粋に面白がりたい。絵本も気に入れば何度でも読み、細かく絵を見ます。私の絵本も描き忘れを指摘されたことがあります。面白いのであえて直さず、そのままにしていますが……。私を含め大人はつい先のことばかり考えてしまいがちですが、彼らはちゃんと“今”を生きていて、“今”を感じているんですよ」。



大きな窓にカーテンはなく、外とつながっているかのよう。緩やかな斜面に建ち、緑が遠くまで見渡せる。この部屋で日中にラジオを聞きながら描くことが多い。



机の周りに飾られたお気に入りの小物たち。子どもの頃から持っているものや、ご自身や友人のハンドメイド作品など好きなものに囲まれている。



「絵は苦手なので『これは大事だ』とか『かわいい!』など衝動に駆られて描くことが多いですね」といさん。作業机はお父さんが使っていたもの。

ものを大切にする暮らし

アトリエの机はお父さんが使っていたものだそうで、窓辺や棚、壁にはたくさんのかわいい小物たち。「好きなものは全部飾りたくなってしまう」と愛着あるものに囲まれた生活だ。保護猫の活動にも長く力を入れていて、この日も4匹のお世話をしていた。

ところで、絵を描くことが好きな少女が絵本作家になった心境とは？

「描きたいことが描けて、それが仕事になる。これは奇跡に近いことだと思

っています。うれしいことに『チリとチリリ』は皆さん大人になっても好きでいてくれて、親子でサイン会にみえることも。絵本という表現方法に出会えて本当に良かったです」。

インタビューを終え、手作りの栗の渋皮煮をいただいた。それはとても大きくて、ほくほくとしておいしく、ほんのりシナモン風味。

「栗が好きなので、ここに来た時から栗の木を植えようと決めていました。苗を植えたら大きな木に育って、びっくりするほど栗ができるんですよ」と

笑ういさんは、しっかり森の住人だ。

秋の終わり、出かけた森で思いがけず「大きな栗の渋皮煮」をごちそうになったチリとチリリになった気分ですてきなアトリエを後にした。

● といかや (土井 香弥)

1969 (昭和44) 年東京生まれ。東京造形大学デザイン学科卒業。猫たちと暮らす日々の中から、自然や生き物への愛情あふれる絵本を発表している。絵本の作品に、「チリとチリリ」シリーズ (アリス館)、「チップとチョコ」シリーズ (文楽堂) のほか、『パンちゃんのおさんぽ』 (BL出版)、『ハーニャの庭で』 (偕成社) など多数。2017年、『アイヌのむかしばなし ひまなこなべ』 (文・萱野茂 / あすなろ書房) で産経児童出版文化賞産経新聞社賞受賞。



絵本の生まれる場所へ

2人でつくる、みんなをつなぐ

accototo ふくだとしおさん+あきこさんのアトリエ

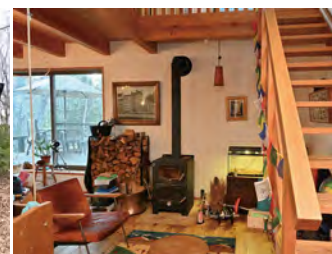
ふくだとしおさん、あきこさんの夫婦2人は絵本作家のaccototo。2003年出版の最初の絵本『うしろにいるのだあれ』がベストセラーとなり、その後の20年間で手掛けた絵本は100冊を超える。長野県の軽井沢に自宅兼アトリエがあり、2女1男の5人家族で住む。自然や子育てなどすべてが絵本づくりにつながっているそうでどのように絵本が生み出されていくのか、お話をうかがった。

四季の移ろいを感じながら

東京から北陸新幹線で約1時間。先ほどもまでの喧騒が嘘のように静かで豊かな自然が広がる軽井沢。この町で浅間山を間近に望む林の中に、ふくだとし

おさん、あきこさんの絵本作家ユニット accototoの自宅兼アトリエがある。

2人は2011年に大阪からここに越して来た。「一番の理由は自然の中で子どもを育てたかったから。都心へのアクセスの良さから軽井沢に決めました」と話す。



左: 秋の庭はまさに落ち葉の絨毯。手前は子どもたちが遊びで使う小さな家。左後ろは屋根付きのピザ窯。右: 冬は薪ストーブが大活躍。犬とカメラ、ヘビ2匹もいる。リビングの階段を上った2階がアトリエ。

訪れたのは初冬。庭には落ち葉の絨毯が広がり、立派なツリーハウスや屋根付きのピザ窯、浅間山から噴出した溶岩を使った天然のバーベキューコンロまで。建築家の友人と考えたというこだわりの自宅は、あたたかみのある木の内装で、薪ストーブや子どもたちが遊ぶブランコ、ポルダリングの壁などが目を引き、窓の前には広々としたテラスもある。

「季節の変化がよくわかりますよ。葉っぱの緑色もさまざまで、幹は茶色と思いがちですが、よく見ると意外とグレーっぽい。広葉樹と針葉樹でも色は全然違います。ここに移って気づかされるのが本当にたくさんあって、絵にもきっと影響していると思います」とあきこさん。としおさんは「言葉遊びやお風呂での遊びなど、子どもとの生活から生まれる絵本も多いですね。ネタ帳はどんどん増えていて、アイデアが

株式会社石田商会

塗料の魅力を伝えながら、
ブランディングを推し進め、
色を扱う商社として街づくりにより深く
かかわっていきたいと思います。

代表取締役 **石田一朗**

寒冷地で使う環境に配慮した
機能性塗料をいかに進めていくか。
メーカーさんと課題を克服して
お客様の要望に応えていきたいですね。

取締役会長 **太田茂樹**



盛岡高松公園内の「高松の池」。白鳥の飛来地として有名で、1月のピーク時で200羽を超える白鳥が飛来し、4月頃まで越冬する。公園内にはバラ園やボタン園などもあり、四季折々楽しめる。



江戸時代初期に南部家29代藩主・重信が創建し、盛岡の総鎮守となった「盛岡八幡宮」。毎年開催されるチャグチャグ馬コや、例祭の山車行事(盛岡山車)、流竈馬神事で知られる。



本社事務所と販売コーナー。

岩手県中部に位置する盛岡市。安土桃山時代、南部氏が盛岡城を築いて以来城下町として発達し、明治以後は北東北の政治、経済の中心地として栄えてきました。2023(令和5)年1月にはニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」に選ばれ、国内外からいっそう注目されています。

＊ ＊

その盛岡市にある株式会社石田商会をお訪ねし、代表取締役社長の石田一朗さんと、取締役会長の太田茂樹さんにお話をうかがいました。

■創業はいつでしょうか？

●社長：終戦直後の1947(昭和22)年です。私の曾祖父・石田豊蔵が盛岡の呉服町で創業しました。

●会長：塗料と建材のほかに、当初は画材も扱い、学生さんに売っていたようです。国道4号沿いの現在の場所に移ったのは1970年。半世紀たったことになりました。

●社長：その後1974年に創業者の長男で私の祖父・石田一が日本で3番目、東北では最初のホームセンター「メイク」を設立しました。会社が大きくなって分社化したのが1983年で、石田商会は祖父のあと工藤暁が社長・会長

として約30年経営しました。その工藤が80歳で引退し、私も入社して5年たったこともあり、太田社長を引き継ぎ2022年に45歳で社長に就任しました。

■以前はどのようなお仕事をされていたのでしょうか？

●社長：小売業のDNAが流れていたのでしょうね。東京の大学を卒業して最初に就職したのはデパートでした。石田商会を継ぐのが使命だと思い、40前で盛岡に戻ることを決意したのが30歳のとき。東京に未練を残さないために日本一の会社で働き切ることを決め、日本一の広告代理店に転職して、39歳まで日本一のハードワークを続けました(笑)。

有言実行で看板をリニューアル

■就任されて50年ぶりに看板を変えられましたか……。

●社長：私が常々言っているのが“有言実行”です。長年変えると言って実行しなかった1つが看板で、就任後すぐにリニューアルしました。障害者アートに特化している盛岡に本社がある会社とコラボし、釜石市のアーティストの絵を使わせていただきました。



赤いレンガと白い花崗岩が美しい「岩手銀行赤レンガ館」。1911(明治44)年に、東京駅で知られる辰野・葛西建築設計事務所の設計で建てられた歴史的建造物で、国指定重要文化財。



盛岡藩・南部氏の居城だった盛岡城の跡に、明治時代に近代公園の先駆者・長岡安平により整備された「盛岡城跡公園(岩手公園)」。庭園(上)や、さまざまな積み方が混在する石垣(右)があり、市民の憩いの場として親しまれている。



リニューアルされた目にも鮮やかな看板。「一人ひとりの個性＝色を大切にしたい社会を作る」というストーリーを発信したことで、けっこう話題になりました」(石田社長)。

■「Paint your Dreams」という文言も掲げられています。

●社長：昨年策定した当社のスローガンです。設置位置を低くして、国道沿いに多い中学や高校などの学生さんにも「夢に彩りを」というメッセージを届けるとともに、塗料という色を扱っている会社だとアピールしています。若い方に見てもらうことで将来的には採用につなげたいという意図もあります。

■現在の業務内容をお聞かせください。

●会長：塗料と建材の販売です。売上でいえば塗料が8割で建材が2割です。橋梁などの重防食用塗料も扱いますが、自動車や工場関係の塗料が多いですね。建築用塗料は新築の物件が少なくなっ



■ユーザーのニーズはどう変化しているとお感じでしょうか？

●社長：断熱塗料や抗菌塗料など、最近は機能性塗料を求める方が多いですね。背景には環境問題やSDGsがあり、お客様も意識されていると感じます。

●会長：特に環境に配慮した材料が要求されています。ニットクさんはじめメーカーさんも温暖化や環境問題に対応して塗料の水性化を進めていますが、その要望は強くなると思います。

■ニットクとのお付き合いはいつごろからでしょうか？

●会長：ハイブルーフ会に入っていましたから半世紀近く取り引きがあると思います。今は塗り床材と屋根用遮熱塗料をメインにお世話になっています。

■これからどのようなことが塗料業界に求められるとお考えでしょうか？

●社長：塗料業界は決してなくなりませんが、働く人が減ることで縮小していく可能性はあります。当社も人の採用や育成が成長のポイントだと思います。LINEで企業の公式アカウントを持って情報を発信したり、さまざまなツールを駆使したりしながら、お客様や若い方との接点を作り、会社や塗料の魅力を伝えていきたいと思っています。



フットワークとネットワーク

■デジタルツールの活用ということでしょうか？

●社長：デジタル化が進むほどアナログの価値が増すと思います。その意味でも、フットワークとネットワークを大事にしています。インターネットでつながれる便利な世の中ですが、人との信頼関係は簡単には作れません。全国各地の異業種のトップの方に直接会って優れたエッセンスを学び、外に出ることで気づいた自社の強みをフィードバックして10年20年先の戦略にどう落とし込めるかも考えています。塗料も買って塗って終わりではありません。補修などのメンテナンスを含めてコンサルティングが必要な製品です。そこに我々の存在意義があります。

■将来のビジョンをお聞かせください。

●社長：生業の塗料販売を軸にしながらエリアのお客様を増やし、塗料の魅力を伝えていきたいですね。それから、街づくりというキーワードでもっと事業を広げたいと思っています。

■趣味をお聞かせください。

●社長：「趣味は仕事です」と答えています(笑)。常に自分をアップデートし

なければならないと思うので、MBAを取得するために大学院にも通っています。2番目くらいにゴルフですね。お付き合いもあるので去年から始めています。まだまだ下手ですが(笑)。

●会長：私はゴルフが趣味です。また、休日はよく歩いています。社長を引退していろいろな病気が見つかりまして(笑)、健康のために歩数ではなく、1日1時間と時間を決めて歩いています。

■本日はどうもありがとうございました。

[2023年11月20日、盛岡市にて]

PROFILE

- 株式会社石田商会
(東北ニットク・アメニティシステム会会員)
- 創業／1947(昭和22年)年1月
- 設立／1983(昭和58年)年3月
- 資本金／5,000万円
- 代表者／代表取締役 石田一朗
- 所在地／〒020-0185
岩手県盛岡市上堂1-19-55
電話(019)647-4265
FAX(019)645-2948
HP: <http://www.ishida-morioka.co.jp>
- 営業品目／塗料・建材・看板材料・接着剤・塗装設備・機械・工具等の販売
- 従業員数／42名
- 事業所／仙台営業所、水沢営業所

本社屋。

株式会社アヅマ



代表取締役 **上野富彦**

塗装はAIには代われない、
魅力的な仕事だと思います。
その素晴らしさを伝えながら、
当社にかかわるすべての方々に
幸せにしたいですね。



取締役会長 **上野雅英**

誠意をこめた
いい仕事をしなければ、
お客様の信用は得られません。
信用によって人と仕事を増やし、
技術をつなげていきたいですね。



浜名湖畔のそばにある「はままつラワーパーク」(左)と「浜名湖ガーデンパーク」(上)。2024年春開催の「浜名湖花博2024」の会場になっており、四季折々の花を楽しめる。

静岡県の西部にある浜松市。戦国時代は浜松城の城下町、江戸時代は東海道の宿場町「浜松宿」として栄えました。現在は県内最多の人口を有し、全国有数の自動車工業都市として、また多数の楽器メーカーが立地する「楽器」として発展しています。

＊ ＊

その浜松市にある株式会社アヅマをお訪ねし、代表取締役社長の上野富彦さんと、取締役会長の上野雅英さんにお話をうかがいました。

■創業はいつでしょうか？

●会長：私の父親が横浜の塗装店で修行したあと、1930（昭和5）年に「アヅマ塗装工芸社」として掛川で創業しました。祖父が掛川の飴細工職人で、屋号が「あづまや」だったことから、この名をつけたと聞いています。

■浜松へ進出されたのはいつごろでしょうか？

●会長：営業所が設置された1972年10月です。長男である私の兄が掛川の本社を継ぎ、次男の私が浜松を任されました。その後、お客様を開拓し、1986年7月に独立して「アヅマ総合美装浜松」を設立しました。

●社長：当初は住吉に事務所がありましたが、手狭になったので現在の場所に移ったのが1990（平成2）年4月。この時に「総合美装」を取って社名を3文字の「アヅマ」に変えています。

バブル崩壊をきっかけに改修の分野へ

■現在の業務内容をお聞かせください。

●社長：建築塗装と防水工事が主な業務ですが、会社の中で大きく2つに分けています。1つは第1事業部で、会長の時代から続いているゼネコンさんの下請けです。もう1つはお客様と直接取引する第2事業部です。現在は新築よりも改修の方が多いですね。

●会長：私の代はゼネコンさんの下請け仕事がほとんどでしたが、バブルがはじけた頃、静岡でもっとも大きい建設会社の部長さんから、施主さんから直接仕事を請けた方がいいとアドバイスをいただきました。設計事務所などを回り、飛び込み営業をしながら、新規のお客様を開拓しました。

●社長：信頼して教えてくれる方がいたということですね。30年前のこの決断が会社としての転換点だと思い

ます。特にマンションの大規模修繕の分野に進出したことが大きいですね。新築だけでなく、改修の技術を深められたことは今の強みになっています。

■社長ご就任はいつでしょうか？

●社長：2015年、38歳のときです。3年間、東京で修行したあと、25歳のころに戻って入社し、3年ほど職人として若い衆と現場を経験し、その後、専務をへて就任しました。

●会長：私が元気なうちに代わってもらいたかったということですね（笑）。

■経営方針をお聞かせください。

●社長：経営理念・企業理念として社員によく言ってるのは、お客様はもちろん、従業員も家族も協力会社の家族も、当社にかかわるすべての人を幸せにしようということです。“五方良し”“六方良し”ですね。

●会長：誠実な仕事をして信頼を得ることが大切です。そのためには、まず技術を持った職人を育てなければなりません。

●社長：1級建築施工管理技士などの資格は積極的に取得させ、社員の9割は国家資格を持っています。資格は自信になるし、お客様からの信頼も得ら

れます。勉強の方法もわかりますし、将来的には教える立場にもなれます。

塗装業界は素晴らしい

●社長：職人を育てる中で、やっぱりこの業界は面白いということに気づきました。AIに置き換えられるといわれる仕事が多い中で、改修の市場はなくなるのではないと新入社員に話しています。改修には、塗装や防水という人間の技術が必要不可欠です。自分の経験や技術に価値があり、建物がきれいになってお客様が目の前で喜んでくれる。こんな素晴らしい仕事はありません。社員には当社でその価値をどんどん高めたいと思います。

■ニットクとのお付き合いはいつごろからでしょうか？

●会長：東海ハイブルー会が発足したころからですから、40年近くになると思います。最初は塗り床材、それ

からアクリルゴム系壁面防水化粧材「ハイブルー」でお世話になりました。バブルのころに「ハイブルー」を採用した物件は数え切れません（笑）。●社長：保証が切れる前に「ハイブルー」の改修工法を開発していただきたいですね（笑）。今まで施工した既存の建物、実績が膨大にあるわけですから、改修のためのいい工法があれば、お客様も喜ぶと思います。

■塗装業界に求められるのはどのようなことだと思いますか？

●社長：1つは建物の長寿命化という社会的なニーズです。多少お金がかかったとしても修繕サイクルを長くして、長期的に見てコストダウンしたいという要望ですね。あとは環境配慮です。塗料の水性化はどんどん必要になってくると思います。

■会社の将来ビジョンをお聞かせください。

●社長：継続的に利益を出して我々に



本社事務所。

かかわる人たちみんなを幸せにしたい。そのために社員教育に力を入れて、しっかりした組織作りをしたいですね。

■趣味をお聞かせください。

●会長：休日はほとんど孫の相手です（笑）。8人いますがみなかわいくて幸せですよ。以前は休日のお客様と釣りやゴルフに行きました。ボートまで買って浜名湖や海に出ていましたよ（笑）。

●社長：僕は休日のお付き合いはないですね。ゴルフもできませんし、趣味という趣味はありません（笑）。仕事が趣味と言っていると思います。

■本日はどうもありがとうございました。
[2023年11月6日、浜松市にて]

PROFILE

■株式会社アヅマ
(東海ニットク・アメニティシステム会員)

- 創業／1930（昭和5）年10月
- 設立／1986（昭和61）年7月
- 資本金／6,000万円
- 代表者／代表取締役 上野富彦
- 所在地／〒433-8101 静岡県浜松市中央区三幸町251
- 電話（053）438-3211
- FAX（053）438-0330
- HP：https://azuma-net.com
- 取扱業務／建物長寿命化事業（マンション大規模修繕工事、躯体補修工事、タイル剥落防止工事、コンクリート中性化防止工事、防水改修工事、建物修繕・リフォーム・増改築）、建物再生事業（リノベーション工事）、建物診断事業（外壁点検・建物劣化診断、修繕計画策定・赤外線建物診断）
- 従業員数／33名



徳川家康が1570（元亀元）年に築城し、17年間過ごした「浜松城」。歴代の城主の多くが江戸幕府の重鎮に出世したことから「出世城」とも呼ばれている。戦後、往時の石垣の上に新天守閣が再建され、周辺は「浜松城公園」として整備されている。



航空自衛隊浜松基地に隣接する「浜松広報館」（愛称「エアパーク」）。見て・触れて・楽しめる、航空自衛隊初の博物館形式の施設で、航空自衛隊の航空機やフライト・シミュレーターが展示されている。



本社社屋。

■塗料事業本部

●ニットク・アメニティシステム連合会総会――

「令和5年総会を宮城・ホテルメトロポリタン仙台で開催」

「ニットク・アメニティシステム連合会」（会員数474社）の令和5年総会が昨年（2023）の11月17日、宮城・ホテルメトロポリタン仙台で開催されました。

総会は宮本副会長の「開会の辞」で始まり、その後、出席者全員で「ニットク・アメニティシステム連合会会員憲章」の唱



▲宮本副会長による開会の辞



▲佐々木会長の挨拶

す。私たちがこれを改善していくためにも、製・販・装が揃って活動しているニットク・アメニティシステム連合会は、業界内においても非常に貴重な存在であると改めて感じます。限られた時間ではありますが、良い会となりますように、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします」と述べられました。

続いて、佐々木会長が議長に選任され、第1号議案から第4号議案が審議され、承認・可決されました。

＊ ＊

なお、第3号議案で承認された令和5年度の事業計画は以下の通りです。

- ①日本特殊塗料(株)のすべての塗料・工法の採用に取り組んでいきます。
- ②今年度も引き続き、「シルビアセラティーン」「遮熱塗料シリーズ」「防水材」「塗り床材」などの採用拡大に取り組みます。
- ③各地区ニットク・アメニティシステム会と日本特殊塗料(株)の連携を密にして、顧客のニーズにより一層応えていきます。
- ④ニットク・アメニティシステム連合会ホームページの充実化をはかります。
- ⑤SNSを活用し、ニットク・アメニティシステム会の知名度アップに取り組めます。
- ⑥広告・宣伝活動および官庁、設計事務所などへのPR活動を推進します。
- ⑦ニットク・アメニティシステム連合会役員会を年3回開催し、効率的な会の運

営をはかります。

⑧『ニットク・アメニティシステム連合会ニュース』を発行します。

議案の審議終了後には、総会に先立って開催された合同技術委員会および合同広報委員会の審議事項が報告されました。

＊ ＊

その後、本年度の優秀会員の表彰が行われました。表彰を受けられたのは以下の方々です。

■日本特殊塗料(株)社長特別賞（2社）

(株)ナカムラ（関東・甲信越）※10年連続

小田建塗工業(株)（東海）※10年連続



▲社長特別賞

■ニットク・アメニティシステム連合会会長賞（8社）

アサヒカラコン(株)（近畿・北陸）※21年連続

(有)マエダ化研（近畿・北陸）※18年連続

(有)有村防水（九州）※15年連続

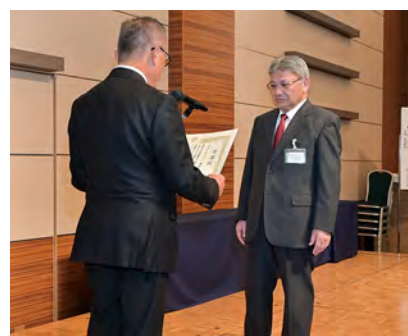
(株)テッシン（関東・甲信越）※3年連続

(株)愛知レジン（東海）※3年連続

(株)マイスター技研（東海）※3年連続

山樹エンジニアリング(株)（中国）※3年連続

アイワ工業(株)（九州）※3年連続



▲会長賞



▲総会会場

■日本特殊塗料(株)社長賞（28社）

(株)オキナワ技研（九州）※23年連続

アサヒカラコン(株)（近畿・北陸）※21年連続

九州防水(株)（九州）※19年連続

(株)ミカド（九州）※19年連続

(有)マエダ化研（近畿・北陸）※18年連続

新生建工(株)（東海）※16年連続

(有)有村防水（九州）※15年連続

(株)スギモト（九州）※13年連続

古賀工業(株)（近畿・北陸）※11年連続

(株)安河内工業（九州）※11年連続

(株)ナカムラ（関東・甲信越）※10年連続

小田建塗工業(株)（東海）※10年連続

(株)ハスナ（関東・甲信越）※8年連続

(株)駿河コーポレーション（九州）※8年連続

(株)深港美装（九州）※5年連続

(株)タナカペインティング（関東・甲信越）

※4年連続

菅産業(株)（九州）※4年連続

(株)オフィス・エスピーケー（九州）

※4年連続

(株)テッシン（関東・甲信越）※3年連続



▲社長賞

(株)愛知レジン（東海）※3年連続

(株)マイスター技研（東海）※3年連続

山樹エンジニアリング(株)（中国）※3年連続

アイワ工業(株)（九州）※3年連続

(株)アイ・ディー・エフ（北海道）

(有)板持塗装店（中国）

(株)シコクビル（四国）

(株)日光（九州）

光塗装(株)（九州）

■功労賞（1社）

札幌ベック(株)

代表取締役 前田卓哉様

＊ ＊

表彰に続いて、メーカーを代表し遠田社長から、「ニットク・アメニティシステ



▲遠田社長の挨拶

ム連合会総会の開催にご協力いただいた皆様、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。こうして皆様のお顔を拝見し、エネルギーを感じていますと、私たちメーカーのやるべきことはなにかということを改めて感じさせられます。事業を行っていく中で、

適正な利益を上げ事業を永続的に続けていくということは、どなたにとっても共通することかと思っています。塗料を製造しているメーカーの役目としてどのような貢献ができるか。これは、『皆様の事業のお役に立ち、皆様が販売、施工されたお客様のためになる』そのような塗料を製造、販売することが私たちの使命であると、改めて感じる次第です。厳しい環境の中で、飛躍的で特別な製品というものを簡単に生み出すことはできませんが、私たちはメーカーの責務として、これを担っていく必要があると思っています。弊社の近況ですが、塗料事業に関しては、前年対比で4%増の状況です。原価低減や生産性改善など、まだまだ努力が足りないと感じています。自動車事業に関しては、自動車生産の回復とともに顕著に推移しています。しかし、円安、原料高が続いており、この先も気の抜けない状況が続くと感じています。国内のビジネス環境の厳しさは、日常となっていますが、私たちはこの中で事業を進めていかなければなりません。この状況を乗り越えて、適正な事業を運営していく努力を失ってはならないと日々感じています。ここで努力を怠らないということを改めて宣言させていただきます。引き続き日本特殊塗料をよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました」との挨拶がありました。最後は田辺副会長の閉会



▲田辺副会長による閉会の辞

の辞で今回の通常総会を終了しました。

本年度も「ニットク・アメニティシステム連合会」の一層の発展と飛躍が大きく期待されます。

●お知らせ

カーボンニュートラルの取り組み「太陽光発電設備を導入」

国内の取り組みについて

当社は、「気候変動への対応」をマテリアリティ（重要課題）の1つに掲げ、2030年度にCO₂排出量を50%削減※、2050年にすべての製品と企業活動を通じたカーボンニュートラルを実現することを目指しています。

直近では、2023年に入り、当社愛知工場に太陽光発電設備（太陽光パネル発電機出力317kW（最大））を導入する等、対応を本格化しています。当社グループは、今後も、事業における環境負荷低減の取り組みを推進するとともに、持続可能な

成長への積極的な貢献を果たしてまいります。
[経営企画室・石田]

※2018年度比。当社グループ（当社及び連結子会社）のScope1・Scope2

海外の取り組みについて

■中国・WNA（武漢日特国防音配件有限公司）

WNAは武漢市にある2番目の工場（恵安工場）に屋上型太陽光発電システムを導入しました。

建屋の屋上に、合計2,646枚のソーラーパネルを設置し、総発電容量は1,497kWp、

1年間で約160万kWの電気を作ることができます。その内の約70%をWNAの生産活動などに使用し、残りは電力会社に販売する形となっています。

これで、WNA恵安工場の総電気使用量の約1/4をこの太陽光発電システムから

賄えることとなりますが、2023年5月から正式に運用を開始し、半年で約466tのCO₂を削減したこととなります。今後は、WNA第3工場（常福工場）にも導入を検討しています。
[WNA・于]



▲WNA（恵安工場）



■中国・TAN（天津日特国防音配件有限公司）

2022年11月、天津市にある西青工場の屋上一面に太陽光発電設備を設置しました。

設置面積5,500㎡、容量が717.75kW、発電量は1,070MWhです。5年間のCO₂削減量は約2万3,000tとなり、これは11万6,000本の植林に相当します。今後もSDGs活動を推進し社会貢献に努めるよう社内活動を行っていきます。
[TAN・杉山]



TAN▶



▲愛知工場



■中国・ANG（日特固（広州）防音配件有限公司）

2022年9月、太陽光発電設備の設置を完了しました。

環境にやさしくクリーンなエネルギーであり、電力使用のピークタイムに活用できるため、効率的かつピーク時の停電リスクを低減し、さらに広州の夏場の高温状況の中においてパネル設置により屋根の温度低下による使用電力削減の相乗

効果も見込めます。

今後、広州市では、政府からカーボン排出税を課されることも予想されておりますが、ANGでは、年間約230万kWhの発電量により、年間約1,500tのCO₂排出量を低減させることができる見込みです。将来的な収益改善も見込み、持続可能な開発目標として継続して取り組んでまいります。
[ANG・角田]



▲ANG

■タイ・SNC、SRN

2021年7月から段階的に、タイの2社3工場（SNC SOUND PROOFの2工場、SRN SOUND PROOFの1工場）にて、合計1700kWpの太陽光発電設備を導入しています。

タイ国は、赤道に近いことから日本と比較すると約1.5倍の日射量があり、太陽

光発電に適した地域です。タイ政府も再生可能エネルギーに積極的な姿勢を取っており、総投資額の最大50%を法人所得税免除（3年以内）するBOI（タイ投資委員会）の恩恵は、企業にとっても魅力のある政策となっています。

また、タイ政府の環境対応方針としては、2030年までにGHG（温室効果ガス）の

排出量を20%～30%削減する目標を掲げています。今回の対応により、年間約1,200tのCO₂排出量の削減を実現し、ほぼ目標を達成したこととなりますが、今後も継続して環境対応に取り組んでまいります。
[SNC、SRN・田中]



▲SNC



▲SRN

新製品紹介

塗料事業本部

「ユータック コンプリート 難黄変BIO」のご紹介

水性硬質ウレタン系塗り床材の性能面の課題であった“経時での黄変”に対応した製品として、「ユータック コンプリート 難黄変BIO」を新規開発いたしました。これにより、これまでは適用が難しかった半屋内（建物内部でも外部環境にさらされる場所）での施工や、カラーバリエーションの充実などの用途拡大が期待されます。また、この製品は当社製品で初となる、「一般社団法人 日本

有機資源協会」より認定を受けた“バイオマスマーク※取得製品”です。これにより、環境負荷の軽減に少しでも貢献できればと考えます。

■製品の特長

①バイオマスマーク認定商品です。

石油資源の節約とCO₂排出量削減に取り組むべくバイオマス原料由来の樹脂

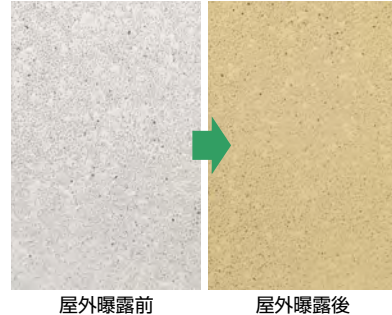
を採用しています。A液（バイオマス度10%）、B液（バイオマス度55%）はバイオマスマーク認定商品です。

②難黄変タイプです。

紫外線による変色が発生しにくい「難黄変タイプ」を開発いたしました。耐久性に優れる水性硬質ウレタン系塗り床材の特長を活かしつつ、建物内部で

■耐候性試験結果(屋外曝露10日)

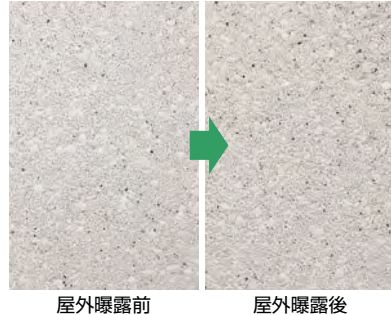
●水性硬質ウレタン系塗り床材(従来品)



屋外曝露前

屋外曝露後

●ユータック コンプリート 難黄変BIO



屋外曝露前

屋外曝露後



も外部環境にさらされる場所（半屋内）での使用が可能です。

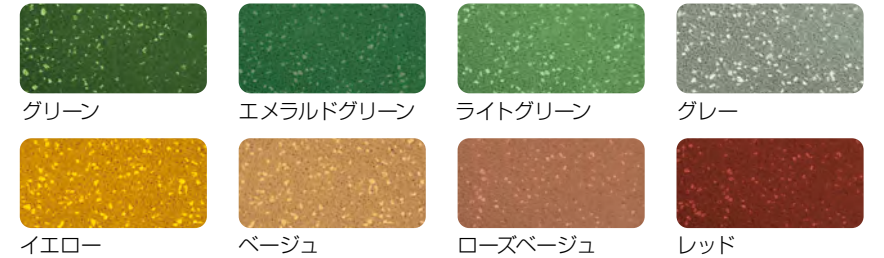
③認定業者でのみ塗装が可能です。

この製品は管理製品です。メーカー認定の施工代理店（NAS会員）でのみ塗装可能です。

* *

この製品は、当社製品を熟知した施工代理店・販売代理店で構成される「ニットク・アメニティシステム連合会」（NAS会）会員各社からいただいたご意見を処方に反映させ開発した商品です。今後も、

■標準色(8色)



※標準色は印刷のため、実際の仕上りとは相違があります。また、防滑仕上の写真と実際の仕上りや色相に相違がある場合があります。ご了承ください。

■荷姿

- ユータック コンプリート 難黄変BIO モルタル用A液……………1.5kg
- ユータック コンプリート 難黄変BIO B液……………2.0kg
- ユータック コンプリート 中膜パウダー……………18kg
- ユータック コンプリート Lパウダー……………20kg
- ユータック コンプリート 着色トナー（標準色8色）……………0.3kg
- ユータック コンプリート 難黄変BIO 硬化促進剤(冬用／春夏秋用) ……各2kg

NAS会会員各社の高い施工技能と共に、プリート 難黄変BIO」の普及に努めてまいります。

塗料事業本部

「パラサーモ」シリーズ リニューアル

「パラサーモU」「パラサーモSi」「パラサーモF」のご紹介

2001年の屋根用遮熱塗料「パラサーモ」発売を皮切りに、屋根、建築外装向け遮熱塗料を手掛けて20年以上が経過しました。数々の遮熱塗料で市場を魅了し、ご愛顧いただいている「パラサーモ」シリーズは、このたび、航空機用塗料で培った独自技術でさらなる性能アップを実現し、リニューアルすることになりました。

■新「パラサーモ」シリーズ

屋根は太陽光の紫外線を一番多く受ける部位であり、耐久性が求められます。リニューアル製品でも用途に応じウレタン、シリコン、フッ素とラインアップし、お客様のニーズに応じた製品をご提供いたします。

●2液弱溶剤ウレタン樹脂塗料

「パラサーモU」:

「パラサーモN」の後継製品です。

●2液弱溶剤シリコン樹脂塗料

「パラサーモSi」:

「パラサーモシリコン」の後継製品です。

●2液弱溶剤フッ素樹脂塗料

「パラサーモF」:

「パラサーモフッ素」の後継製品です。

■リニューアル製品の主な特長

①優れた遮熱性

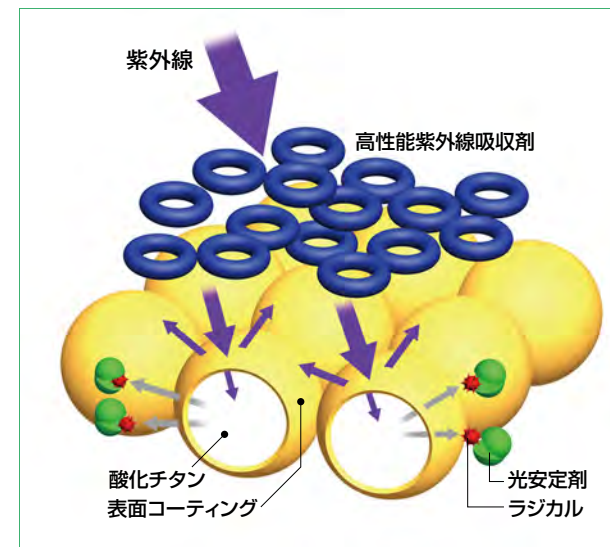
太陽光に対する反射率に優れた顔料、熱放射率に優れたセラミックと当社独自の技術を融合。従来の遮熱技術をリ

ニューアル製品にも展開し、引き続き高い遮熱効果が期待できます。

②独自のラジカル制御技術で高耐久化を実現

ラジカルとは、塗膜中の酸化チタンや樹脂に紫外線や酸素、水分が当たることによって発生する活性種で、樹脂を破壊して塗膜の劣化を促進させます。

リニューアル製品では航空機用塗料で培った独自の技術により、ラジカルの発生原因である紫外線の大部分を高性能紫外線吸収剤で吸収し、すり抜けた微量の紫外線によって発生したラジカルも光安定剤で捕捉して無害化します。



さらに、酸化チタンの表面にも特殊な処理をすることにより、紫外線から防御する3段階のラジカル制御技術を導

入しています。

③ダブルリフレクションシステム

主に上塗り塗料である「パラサーモ」シリーズで赤外線を反射しますが、万能プライマーである「エポラオールプライマー」の遮熱ホワイト色をご使用いただく

ことで、プライマー層からも赤外線を反射します。このダブルリフレクションシステムにより遮熱効果がさらに向

上します。室内への熱の侵入を低減させ、快適な居住空間に貢献します。

* *

リニューアル製品の色相や荷姿、塗装仕様につきましては従来のシリーズから変更はございません。また中空パルーンを塗膜中に含むことで、透過した赤外線による熱エネルギーをさらに遮断できる断熱工法「パラサーモシールド工法」も引き続きご活用いただけます。

リニューアルした「パラサーモ」シリーズにつきまして、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■自動車製品事業本部

ANG「操業20周年記念式典」を開催

ANG（日特固（広州）防音配件有限公司）は、昨年9月に操業20周年を迎えることができました。10月25日、記念式典をANG構内で開催し、ボードメンバーとして、ニットク、Autoneum、CCR（台湾）、また花都市からも臨席を賜りました。

ANGは、ニットクとAutoneumがアジアで設立したジョイントベンチャーの中では最も規模が大きく、ニットクの主要防音部品のすべてを生産することができます。ANGでは、これまでも新型コロナウイルス感染症によるロックダウンや、半導体不足によるカーメーカーの急激な生産変動といった数々の危機を乗り越えてきましたが、昨今の中国自動車市場の急

激な電気自動車へのシフトによって、中華系カーメーカーの台頭による市場の変

動もあり、今も厳しい環境に置かれています。しかしながら、電動化への変革を



ビジネスチャンスと捉え、ニットク・Autoneumグループの強みを活かして、日

系カーメーカーはもちろん、中華系カーメーカーからのビジネス獲得・拡大を目

標に、さらなる発展と成長を目指します。



■業務本部

投資家向けのオンライン決算説明会開催について

11月28日、「2024年3月期第2四半期決算説明会」をオンライン形式（Zoomを用いたWEB開催）にて実施しました。

当日は、2025年3月期を最終年度とする中期経営計画の戦略面の概要を代表取締役社長COO・遠田より、業績目標と足元の進捗状況を常務執行役員CFO・力武よりご説明いたしました。

説明の後、中国における自動車製品関連事業の現状と今後の戦略、設備投資計画、当社子会社・ニットクメンテの業績見通し等、参加者から多くのご質問もい

ただきました。

質疑応答を含め、全体で約1時間、当社グループの事業・業績についての理解を深めていただくことができたと感じています。

2021年6月より開始したオンライン形式による決算説明会は、今回で通算7回目となりました。場所・人数の制限なく参加可能なため、参加者より「効率的に参加できて良い」というお声もいただいている一方、投資家の皆様が目前にいる場合と比べ、当社・投資家の双方が説明

や質疑応答の手応えを感じにくい等のデメリットもあり、今後の開催方法については、実際の会場開催との併用等、引き続き検討・改善を進めていきたいと考えています。

なお、説明会で使用した資料は、当社ホームペ



ージにも掲載しています。中期経営計画に関連した今後の成長戦略等について、具体的にご紹介していますので、興味のある方はぜひご覧ください。

当社は今後とも、機関投資家や個人投資家向けの事業・業績に関する説明会の開催や英文開示の充実等、投資家・株主の皆様との対話の量と質の向上に積極的に取り組んでまいります。

皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



▲遠田社長

▲力武常務執行役員

●お知らせ

『CSRレポート2023』発行のお知らせ

2023年9月、『CSRレポート2023』を発行しましたのでお知らせいたします。

『CSRレポート』の発行から3年が経過し、当社における取り組みも少しずつではありますが、進展してきたと考えています。

具体的には、本年度、新たに「日本特殊塗料グループ人権方針」を策定いたしました。当社はこれまで行動規範やサプライチェーンCSRガイドラインの改定、サステナビリティ基本方針の策定を進めてきましたが、社会的要請を踏まえ、改めて人権意識の向上を図るとともに、人権尊

重の取り組みを推進することが目的です。また、カーボンニュートラルに向けた取り組みでは、CO2排出量の算定範囲の拡大として、Scope3範囲の算定を開始するとともに、目標達成に向けた具体的施策の検討を深めてきました。

これらの活動全体は、サステナビリティおよびコンプライアンスを推進する両委員会が統括する体制とし、定期的な進捗確認の機会を設けています。

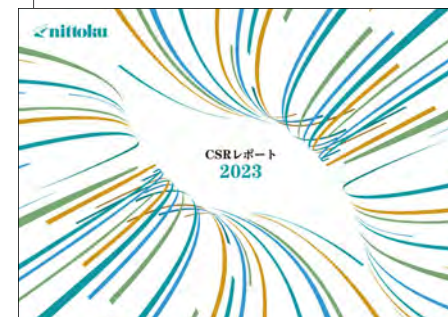
発行済みのレポートは、当社ホームページよりご覧いただけます。上記の人権

方針やカーボンニュートラルに向けた取り組みを含む全体像をご紹介していますので、ぜひご一読ください。

なお、CSRレポートは、より広範囲な情報を記載した「統合報告書」へと今後レベルアップを図る計画です。「統合報告書」では、財務情報に、ESG（環境・社会・ガバナンス）に関する情報を中心とした非財務情報を加え、当社グループの事業戦略を含めた網羅的な記載を目指します。

今後の取り組みへのご理解とご協力を、引き続きよろしくお願いいたします。

CSRレポートはこちら https://www.nttoryo.co.jp/csr_top/csr_report.html



●お知らせ

静岡工場「役員による、清掃および交流イベント」の開催について

9月29日、静岡工場の清掃活動に役員一同が参加するとともに、従業員と交流するイベントを開催いたしました。

当日は、当社グループの関係工場や本

社からも各数名が参加し、総勢135名が一堂に会するイベントとなりました。本イベントは、一昨年設定したマテリアリティ（重要課題）のうち「安全で働きやすい

職場づくり」や「ガバナンスの強化」に対応する施策の1つで、役員が生産現場に入って、コロナ禍に一時休止していた製造現場との交流を改めて活性化するとともに、

に、将来の職場環境向上、働きやすい職場づくりに向け、現状の課題や今後の取り組みを共有することを目的に実施したものです。

工場清掃、昼食会、意見交換・交流会を実施し、短い時間ではありましたが、充実したイベントになったと考えています。当社は、今後も事業活動推進と並行し、

サステナビリティの推進にもこれまで以上に注力していく所存です。



▲清掃活動に集まった従業員一同



▲フィルター清掃を行う遠田社長



▲フィルター清掃を行う中村取締役



▲役員との意見交換・交流会

街を彩るニットの製品



■ヴィラロードス（北海道）
建築外装用塗料「シルビアセラティ-N」/2,976㎡
建築外装用塗料「シルビアクリーン」/715㎡
施工/㈱アイ・ディー・エフ



■ロジェブリエ5条通（北海道）
建築外装用塗料「シルビアセラティ-N」/6,962㎡
建築外装用塗料「シルビアクリーン」/1,478㎡
施工/㈱アイ・ディー・エフ



■KIKI知床（北海道）
アクリルゴム系壁面防水化粧材「ハイブルーフ」/1,100㎡
施工/㈱星塗装工業



■チサンマンション札幌第6（北海道）
アクリルゴム系壁面防水化粧材「ハイブルーフ」/3,234㎡
施工/㈱星塗装工業

街を彩るニットの製品



■真下様邸屋根塗装工事(青森)
屋根用遮熱塗料「パラサーモフッ素」(下塗り「エポラオールプライマー」遮熱ホワイト)/128㎡
施工/㈱佐々木商会



■第2物流センター屋根塗装工事(青森)
屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」(下塗り「エポラオールプライマー」遮熱ホワイト)/2,600㎡
施工/㈱佐々木商会



■秋田県総合射撃場(秋田)
塗り床材「ユータックE-30(K)」/2,300㎡
塗り床材「ユータックS」/2,300㎡
建設/菊地建設㈱
施工/㈱佐藤塗装



■某工場屋根改修工事(秋田)
屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」(下塗り「エポラオールプライマー」)/3,200㎡
施工/㈱共立塗装



■上藤沢中学校校舎外壁等改修工事(埼玉)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-1工法/1,370㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」X-2工法/890㎡
設計/所沢市
元請/石田鉄工建設㈱



■某病院(埼玉)
建築外装用塗料「シルビアサーフ」+「シルビアWU-200」+「エヌティオ」/3,300㎡
屋根用遮熱塗料「パラサーモN」/290㎡
建築外装用遮熱塗料「水性パラサーモ外壁用」/170㎡
施工/協和創建㈱



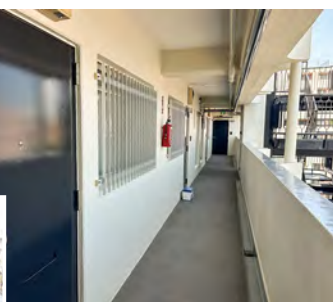
■市営住宅外壁及び屋上防水等改修工事(第16、第17、第18小柳町住宅)(東京)
建築外装用塗料「シルビアサーフ」+「シルビアWF-400」/4,000㎡
建築外装用塗料「シルビアクリーン」/850㎡
建築外装用塗料「シルビナDシリコン」/1,430㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」X-2工法/740㎡
設計/府中市
元請/㈱アール企画



■青梅市立吹上小学校プール(東京)
プール用塗料「プールエース#300」PEU-1 RA-RC工法/385㎡
元請/㈱原美装
施工/㈱井上建装



■六郷小学校屋上防水改修その他工事(東京)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコDX」PG-D30GE工法/2,920㎡
設計/大田区
元請/三ツ木建設工業㈱



■グレース東武高島平(東京)
建築外装用塗料「シルビアWS-300」/4,514㎡
建築外装用塗料「NTダンネツベース」/753㎡
アクリルゴム系壁面防水化粧材「ハイブルーフ」/237㎡
建築外装用塗料「シルビナノキクリーン」/577㎡
建築外装用塗料「シルビナDウレタンN」/鉄骨階段ほか鉄部等
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」PM-V20G工法/158㎡
設計/RC建築デザイン㈱
施工/ニットクメンテ㈱



■川崎市某学校(神奈川)
超速硬化ウレタ・ウレタン系塗膜防水材スプレシステム「NTスプレタイプS」NY-SS20ESS工法/3,957㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」X-1工法/384.1㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」X-2工法/359.6㎡
外壁タイル改修工法「タイルレジスト」/2,479㎡
建設、施工/福吉塗装㈱



■平塚市某工場(神奈川)
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ工法/430㎡
建設/㈱日宝美装
施工/㈱ナカムラ



■㈱リコー厚木事業所(神奈川)
塗り床材「ユータッククリーンE厚膜」SD-1工法/570㎡
建設/曙建設㈱
施工/㈱ワールドバック



■某工場床(山梨)
塗り床材「ユータッククリーンE GL」SD-2工法/236㎡
建設/井口工業㈱
施工/㈱中沢実業



■茅野市某工場(長野)
塗り床材「ユータッククリーンE GL」SD-2工法/1,110㎡
施工/㈱アークシステム

街を彩るニットの製品



■某施設屋上(静岡)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」PN-V20G工法、PG-V20G工法/3,130.5㎡
施工/㈱アヅマ



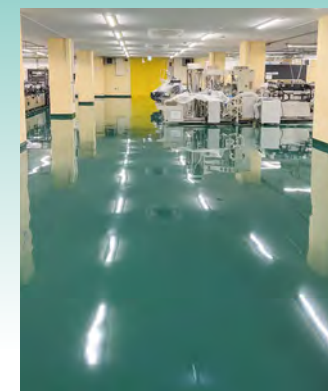
■某工場新築工事(愛知)
塗り床材「ユータックE-30Nローラー用」コーティング工法/2,425㎡
施工/東亜塗装㈱



■某自動車部品工場床改修(愛知)
塗り床材「ユータックE-30N」樹脂モルタル
流し展べ工法/850㎡
建設/㈱畔柳塗装
施工/小田建塗工業㈱



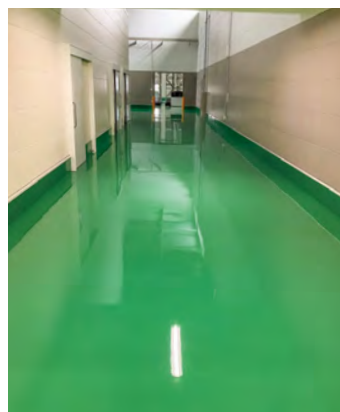
■多田利ビル外壁改修工事(大阪)
建築外用塗料「シルビアサーフ」
+「シルビアWS-300」、
建築外用塗料「シルビアNADシリ
コン」/3,000㎡
施工/㈱マエダ化研



■ウツオ化工 加美工場改修工事(大阪)
塗り床材「ユータックスーパーハード
N」流し展べ工法/870㎡
施工/アサヒカラコン㈱



■ミュージックコート屋上防水工事(大阪)
建築用塗膜防水材「ブルーフロン」PRV-G工法/200㎡
施工/㈱建塗工房



■丸幸製網所新築工事(愛知)
塗り床材「ユータックE-30
N」流し展べ工法「ユータッ
クR」仕上げ/2,150㎡
塗り床材「ユータックFエコ」
流し展べFT工法/350㎡
塗り床材「ユータックコンプ
リート」CPS-3S/300㎡
設計/㈱大河内設計
建設/まるひ建設㈱
施工/真和建装㈱



■某化学工場床新築2期工事(富山)
塗り床材「ユータックE-30N」樹脂モルタル流し展べ工法/1,500㎡
施工/㈱愛知レジン



■某小学校給食室新築工事(大阪)
塗り床材「ユータックコンプリート」CPGM-5N工法/110㎡
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ防滑工法/150㎡
施工/㈱マエダ化研



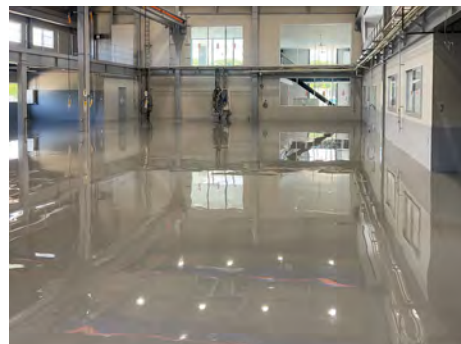
■富田酒造床・溝改修工事(大阪)
塗り床材「ユータックコンプリート」CPS-4F工法/110㎡
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法/20㎡
施工/㈱Ha・ya・te



■某倉庫床改修工事(岐阜)
塗り床材「ユータックE-30N」樹脂モルタル流し展べ工法
/480㎡
施工/㈱愛知レジン



■某工場床改修工事(岐阜)
塗り床材「ユータックE-30N」樹脂モルタル流し展べ工法
/325㎡
施工/㈱愛知レジン



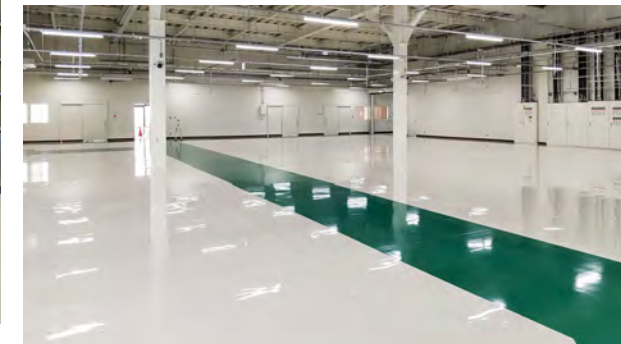
■エイワテック四日市新築工事(三重)
塗り床材「ユータックスーパーハードN」流し展べ工法
/500㎡
施工/アサヒカラコン㈱



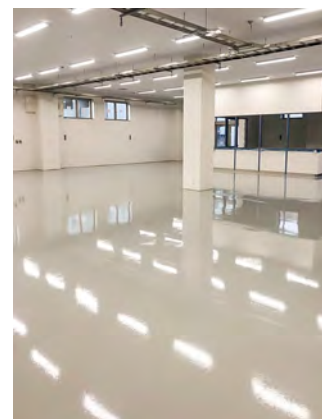
■ダイハツ洲本整備ビル改修工事(兵庫)
塗り床材「ユータックスーパーハードN」流し展べ工法「ユータックR」仕上げ/300㎡
施工/古賀工業㈱



■姫路市内洗車場塗り床工事(兵庫)
塗り床材「ユータックE-30N」樹脂モルタル流し展べ工法「ユータックR」仕上げ/200㎡
施工/古賀工業㈱



■FDK㈱鳥取工場第1第2改修工事(鳥取)
塗り床材「ユータックE-30Nローラー用」コーティング工法(新設)/2,610㎡
施工/ヤマダ塗装㈱



■カスノモータース京都新築工事(京都)
塗り床材「ユータックスーパーハードN」流し展べ工法「ユータックR」仕上げ/400㎡
施工/アサヒカラコン㈱



■京都市立梅津中学校新築工事(京都)
塗り床材「ユータックFエコ」流し展べ防滑FT工法/120㎡
施工/古賀工業㈱



■大西組名神口営業所屋上防水工事(大阪)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」X-1工法/100㎡
施工/㈱建塗工房



■山下工場長邸(広島)
建築外用塗料「シルビアNADフッ素」+「シルビアUVカットフッ素クリアー」(下塗り「エポラオールプライマー」)/166㎡
屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」(下塗り「エポラマイルドプライマー-S」)/96㎡
施工/㈱信誠外装



■某大型ショッピングモール駐車場防水改修工事(広島)
超速硬化ウレタ・ウレタン系塗膜防水材スプレーシステム「NTスプレータイプH」NC-SH30UTR工法/7,687㎡
施工/㈱ビルドウェザー



▲施工前

街を彩るニットの製品



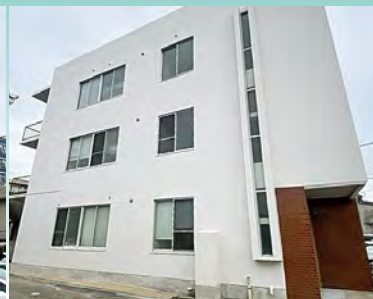
■メナードビル外壁改修工事(山口)
建築外装用塗料「シルビアセラティーンN」
/4,000㎡
施工/㈱日光



■某戸建外壁改修工事(山口)
建築外装用塗料「シルビアセラティーンN」/200㎡
施工/光塗装㈱



■GOOD LINK改修工事(福岡)
建築外装用塗料「シルビアセラティーンN」/480㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-2工法/130㎡
陶磁器タイルクリヤー塗料「タイルピカ」/40㎡
施工/㈱H&Y



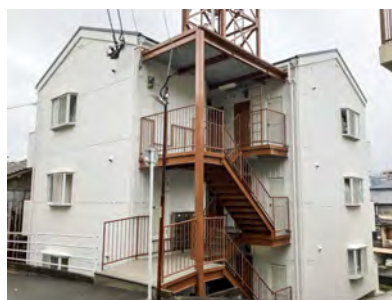
■(㈱福岡市民ホールサービス舞台機材センター)屋上防水改修工事(福岡)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」PRV-HG30S工法/2,282㎡
建設/㈱へいせい
施工/㈱キューボウ



■宮崎県立高等水産研究所本館屋根防水工事(宮崎)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-1工法/450㎡
施工/㈱エイエフ工業



■ロフティ日田駅前テリオ3階駐車場改修工事(大分)
超速硬化ウレタ・ウレタン系塗膜防水材スプレーシステム「NTスプレータイプH」NC-SH30UTR工法/2,035㎡
施工/㈱キューボウ



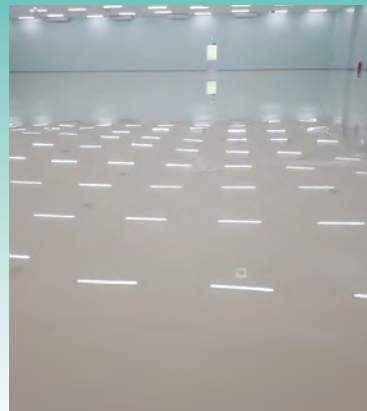
■S様邸7番館(長崎)
建築外装用塗料「シルビアセラティーンN」/450㎡
施工/ミリッペ



■S様邸8番館(長崎)
建築外装用塗料「シルビアセラティーンN」/415㎡
施工/ミリッペ



■S様邸3番館(長崎)
建築外装用塗料「シルビアセラティーンN」/320㎡
施工/ミリッペ



■某部品工場塗り床工事(熊本)
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法
/1,400㎡
施工/㈱駿河コーポレーション



■某半導体工場塗り床工事(熊本)
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法/2,000㎡
施工/㈱駿河コーポレーション

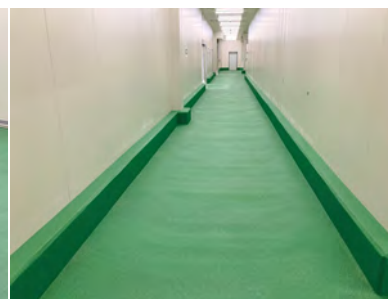
■某半導体工場塗り床工事(熊本)
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法/3,900㎡
施工/㈱駿河コーポレーション



■某病院屋上防水改修工事(鹿児島)
建築用塗膜防水材ウレタン圧送システム SPNPM-D30G工法
/1,300㎡
施工/鹿児島ビルド(有)



■某工場屋上防水改修工事(鹿児島)
超速硬化ウレタ・ウレタン系塗膜防水材スプレーシステム「NTスプレータイプS」NM-SS30G工法/1,200㎡
施工/㈱南日建塗工業、鹿児島ビルド(有)



■某食肉加工工場新築工事(鹿児島)
塗り床材「ユータックコンプリート」CPL工法、CPM工法/2,310㎡
施工/霧島美床



■某小中学校教員宿舎防水改修工事(鹿児島)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」X-2工法/200㎡
施工/㈱有村防水



■某指定避難所屋上防水等改修工事(鹿児島)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコHG」「ブルーフロンエコHG MID」X-2工法/355.9㎡
施工/㈱有村防水



■特別養護老人ホーム「虹の丘」西面外壁改修(鹿児島)
アクリルゴム系壁面防水化粧材「ハイブルーF」/875㎡
施工/㈱有村防水

改修工事予定の方をご紹介します。

ご紹介いただきました工事予定の方には、最寄りの安心できる「ニットク・アメニティシステム連合会」の施工業者様をご紹介します。お気軽に最寄りの営業所へお声掛けください。
対象は、戸建て住宅、工場などの「内外装工事」「屋根塗装工事」「防水工事」「塗り床工事」などです。

●感謝の気持ちをお贈りします。

ご紹介いただきました工事が成約した場合、謝礼金として成約金額に応じて紹介料を施工業者様からお贈りします。

日本特殊塗料株式会社紹介

当社は1929（昭和4）年6月に航空機用塗料の生産・販売を目的に設立されました。
戦後、セメント瓦屋根用塗料を初め、建築用塗料分野等に進出し、自動車用防音・防錆塗料開発で大きく成長しました。
現在は各種分野用の塗料と、自動車用防音材、防錆材を手がけています。

塗料事業

遮熱塗料など、各種機能性塗料をラインアップしています。

航空機、ロケット用塗料、建築用塗料（内外装、屋根、床、屋上防水、プール用など）、防食被覆材（上下水道、農業廃水用など）、DIY製品（建築用、ホビー用など）、防音製品（建築用、鉄道用など）など。



風力発電ブレード用塗料
「ウインドハロートップコートF」



塗り床材「ユータックR」（東京ドームローラースケートアリーナ）



屋根用遮熱塗料「水性バラサーモ」（某介護老人保健施設）



ウレタン塗膜防水材
「ブルーフロンエコDX」（某学校）



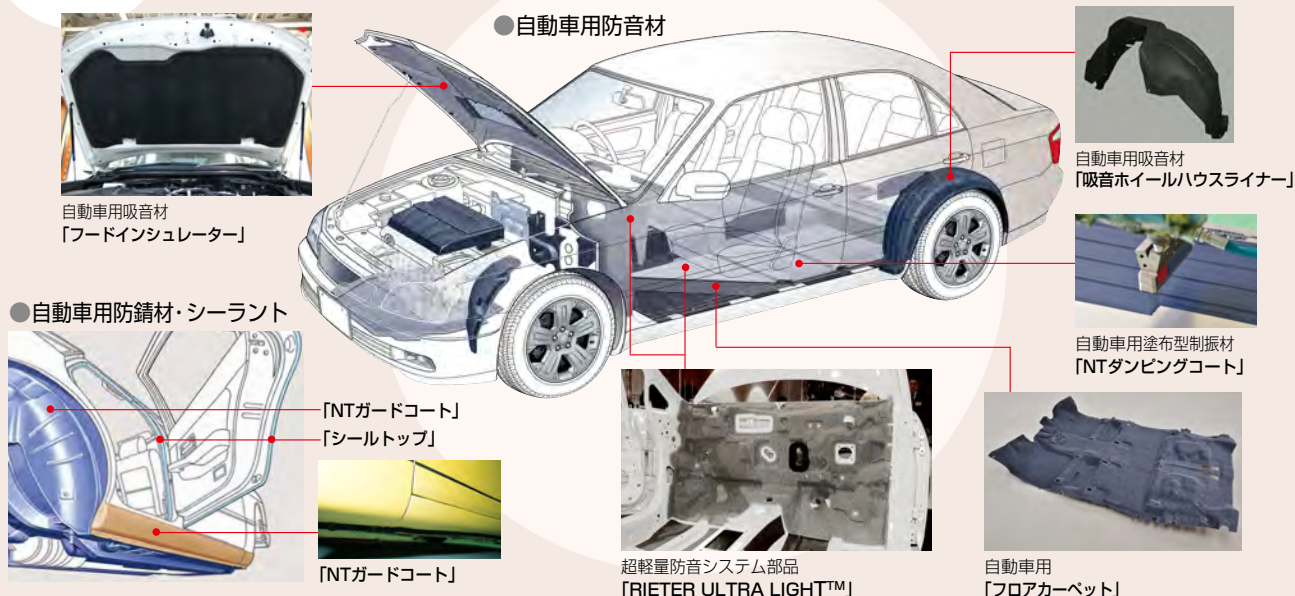
建築用防音材「防音くん 吸音デコ」が
採用された放送施設（東京）



鉄道用防音材が採用された
九州新幹線N700系「さくら」

自動車製品事業

自動車のさまざまな部位の防音材、防錆材を製品化し、国内すべてのカーメーカーにご採用いただいています。
振動を原因としたノイズを減少させる制振材、反響音を弱める吸音材、音の波動を減少させる遮音材をもとに、快適なカーライフを演出しています。



日本特殊塗料株式会社

〒114-8584 東京都北区王子3-23-2

■本社 ■開発センター

■塗料事業／塗料事業本部、東京営業所、神奈川営業所、中部営業所、大阪営業所、中四国営業所、九州営業所、DIY販売部

■自動車製品事業／営業統括部、東日本第1営業所、東日本第2営業所、中日本営業所、西日本第1営業所、西日本第2営業所

■工場／平塚工場、静岡工場、愛知工場、広島工場、九州工場、東九州工場

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>